

木戸病院医誌

2017 VOL. 16

新潟医療生活協同組合



HEALTH CO-OP NIIGATA SINCE 1975

木戸病院の理念

協同互助の精神に基づき、組合員、地域住民の
医療・保健・衛生・福祉の向上を図る

基本方針

- 1) 生涯にわたる健康管理活動の支援
- 2) 生活習慣病の予防と早期発見
- 3) 「患者の権利章典」の豊かな実践
- 4) 診療情報の開示
- 5) 全人的医療を指向

目 次

I. 巻頭言

病院長 津 田 隆 志	1
-------------------	---

II. 病院概要

1. 基本情報	2
2. 施設基準	2
3. 沿革	6
4. 院内のご案内	8

III. 2016年度臨床指標・診療実績

13

IV. 2016年度活動報告・研究業績

1. 診療部

一般内科	17
循環器内科	18
呼吸器内科	20
糖尿病内科・内分泌内科	22
腎臓内科	26
消化器内科	27
神経内科	28
小児科	29
産婦人科	31
外科	32
整形外科	33
泌尿器科	34
皮膚科	35
耳鼻咽喉科	38
リハビリテーション科	40
眼科	41
放射線科	42
歯科・口腔外科	43
石山診療所	45

木戸クリニック	47
2. 看護部	48
3. 医療安全管理室	50
4. 薬剤部	53
5. 診療技術部	
検査科	55
病理検査科	58
放射線科	59
リハビリテーション科	61
栄養科	63
臨床工学科	66
6. 事務部	68
7. 地域包括部	69
8. 健診センター	71
9. 研究部	72
 V. その他活動状況等	
1. 院内講演会	76
2. 院内研修会	76
3. C P C	78
4. 看護部院内研修会	79
 VI. 退院患者疾病統計表	
	89



I. 巻 頭 言

病 院 長 津 田 隆 志

今年も木戸病院医誌を関係医療機関の皆さまにお届けしたいと思います。今後共、ご支援を宜しくお願い致します。

昨年度は「新潟県における地域医療構想」が策定されました。当院でも一昨年から病床機能を検討する中で、回復期、慢性期の患者さんが多い事がわかり、病棟機能の再編に取り組んできました。2014年に地域包括ケア病棟を開設。2015年10月から回復期リハビリ病棟開設、急性期病棟の7：1看護体制への変更を行いました。当初の6病棟から4病棟に再編された急性期病棟は、救急患者や手術患者を積極的に受け入れ、看護必要度の項目チェックスキルを上げながら、何とか7：1看護基準の病棟要件を満たすことができました。回復期リハビリ病棟は、十分なりハビリを実現するため、2016年4月から専従のリハビリ医を配置し、セラピストを増員する中で、9月からは365日リハビリ可能な体制を実現しました。12月には施設基準をⅡからⅠに変更することが出来ました。回復期リハビリ病棟では、新潟大学医歯学総合病院や新潟市民病院などからの転院を積極的に受け入れています。今後もご利用頂きたいと思います。地域包括ケア病棟も、当院の急性期病棟からDPCの入院期間Ⅱを超えた患者の転棟を意識しながら、退院支援を行う病棟としての運用を進めてきました。今後は、当院以外の急性期病院からの転院も受け入れていきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

また、外来では、内科を中心に「待ち時間が長い」、「駐車場に入れない」などの苦情が慢性化しております。外来をスリム化し、重症者の外来管理や救急などの入院患者を受け入れる「病院外来」としての役割を明確にしていきたいと考えております。

昨年度はDPC対象病院として、適切な病名記載、入院期間Ⅱまでの退院・転棟を進めてきました。入院期間Ⅲ以降の退院率は、前年度に比し、45%から35%に改善しましたが、依然3人に1人は、入院期間Ⅲ以降での退院となっております。さらに、後発医薬品の利用率が70%に届かなかったことなどで医療機関別係数が、前年より低くなりました。

基幹型研修病院の3年目にして、昨年度途中でしたが、初めて1名の研修医を受け入れることが出来ました。しかし残念ながら今年度の応募はありませんでした。

医療安全対策では、昨年3月に発生した医療事故に対して、院内医療事故調査委員会を設置し、院内事故調査マニュアルに従って、日本医療安全調査機構に報告致しました。また、昨年3月下旬に急性期病棟において、インフルエンザB型が蔓延し、9日間の病棟閉鎖を余儀なくされました。院内感染対策委員会を含む医療安全部門会議を適時開催し、対策にあたりました。

以上、昨年1年間の病院の動向を概説させていただきました。昨年度から、当院の使命として、「東新潟地域の中核病院として、地域包括ケアの要の病院となる」ことを謳っております。今後、使命に照らし病院の舵取りを行っていきたいと考えております。今後皆さまのご指導を宜しくお願い致します。

II. 病院概要

1. 基本情報

病 院 名 新潟医療生活協同組合 木戸病院
開 設 者 名 鈴 木 克 夫（新潟医療生活協同組合 理事長）
病 院 長 名 津 田 隆 志
副 院 長 名 山 田 明
山 口 利 夫
開設年月日 昭和51年5月6日
病 床 数 一般病棟：4病棟208床（一般病床※緩和ケア病床含む）
地域包括ケア病棟：1病棟54床
回復期リハビリ病棟：1病棟50床
所 在 地 〒950-0862 新潟県新潟市東区竹尾4丁目13番3号
TEL：025-273-2151（代表） FAX：025-273-8360

診 療 科 目（27科目）

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、
神経内科、心療内科、外科、消化器外科、整形外科、精神科、アレルギー科、小児科、
皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、緩和ケア
科、放射線科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、麻酔科

看 護 基 準 一般病棟入院基本料7：1
回復期リハビリ病棟入院基本料2

2. 施設基準

《初診・再診料》 地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算
歯科診療特別対応連携加算

《医学管理》 透析液水質確保加算2
糖尿病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん治療連携指導料
がん患者指導管理料1

小児科外来診療料
ニコチン依存症管理料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
在宅患者歯科治療総合医療管理料
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算 1
無菌製剤処理料
排尿自立指導料

《手術 等》 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
人工肛門、人工膀胱造設前処置加算
輸血管理料（Ⅱ）
麻酔管理料（Ⅰ）
輸血適正使用加算
胃瘻造設術
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
酸素加算
硬膜外自家注入

《検 査》 H P V 核酸検出
検体検査管理加算（Ⅱ）
皮下連続式グルコース測定
内服・点滴誘発試験
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
H P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
持続血糖測定器加算
コンタクトレンズ検査料 1

《画 像》 C T 撮影及びMR I 撮影

《リハビリテーション》
脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）
運動器リハビリテーション（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

《入 院 料》 一般病棟入院基本料（7対1）
回復期リハビリテーション病棟入院料1（4階病棟）
地域包括ケア病棟入院料1（8階病棟）
診療録管理体制加算2
医師事務作業補助体制加算1（15対1）
急性期看護補助体制加算（50対1）
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
退院支援加算2
医療安全対策加算1
感染防止対策加算1
患者サポート体制充実加算
ハイリスク妊娠管理加算
総合評価加算
データ提出加算2
病棟薬剤業務実施加算1
小児科入院医療管理料5
看護職員夜間配置加算（16対1）
認知症ケア加算2

《歯 科》 地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算
歯科診療特別対応連携加算
在宅患者歯科治療総合医療管理加算
歯科治療総合医療管理加算
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科口腔リハビリテーション料2
歯科技工加算
歯周組織再生誘導手術

《そ の 他》 入院時食事療養（Ⅰ）
食堂加算

学会指定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本消化器内視鏡学会指導施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本腎臓学会研修施設
日本外科学会認定医制度修練施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設
日本肝臓学会関連施設
日本消化器病学会関連施設
日本皮膚科学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会N S T稼働施設
マンモグラフィ検診施設
日本透析医学会専門医制度 新潟大学歯学総合病院教育関連施設

指定医療機関 臨床研修病院
歯科臨床研修病院
救急指定医療機関
健康保険法指定医療機関
国民健康保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
優生保護法指定医療機関
結核予防法指定医療機関
原爆医療法指定医療機関
身体障害者福祉法指定医療機関
日本病院会、短期人間ドック指定
厚生医療指定医療機関
育成医療指定医療機関
在宅酸素療法指定管理施設
労働者災害保障保険医療機関
新潟県肝疾患診療協力病院

新潟医療生活協同組合事業所

木戸病院 ・健診センター
石山診療所 ・ケアプラン石山
 ・小規模多機能型居宅介護 赤いふうせん
なじょも ・木戸クリニック
 ・訪問介護センター なじょも
 ・訪問看護ステーション なじょも
 ・デイサービスセンター なじょも

- ・ショートステイ なじょも
- ・訪問型基準緩和サービス ぴあの
- ・通所型基準緩和サービス 百の花なじょも
- ・通所リハビリテーション なじょも
- ・サービス付き高齢者向け住宅CO-OPなじょもガーデン
- ・学童クラブ なじょも
- ・在宅介護支援センターあしぬま荘（社会福祉法人 亀田郷芦沼会運営）
- ・新潟市地域包括支援センター木戸・大形（社会福祉法人 亀田郷芦沼会運営）

介護老人保健施設ほほえみの里きど

COOP健康づくりクラブwithウィズ

病児保育室「きどっこ」

院内保育所「いちご畑」

関連事業所	亀田郷芦沼会	・特別養護老人ホーム あしぬま会
		・特別養護老人施設 風の笛
		・デイサービスセンター あしぬま
		・ショートステイ あしぬま
		・在宅介護支援センター あしぬま荘
		・知的障害者通所授産施設 ほがらか福祉園
		・小規模多機能型居宅介護ふもとの奏

協力施設	特別養護老人施設	あしぬま荘
	特別養護老人施設	風の笛
	介護老人保健施設	有楽園
	介護老人保健施設	アビラ大形
	逢谷内デイ・サービスセンター	
	グループホーム	グループホーム大形
	グループホーム	おおやちの家
	介護老人福祉施設	あわやまの里
	介護老人保健施設	松浜さくら園
	地域密着型福祉施設	徳蓮荘

3. 沿革

昭和50年2月	新潟医療生活協同組合設立許可
昭和51年5月	木戸病院開院（病床数：88床）
	診療科：内科、神経内科、循環器科、小児科、皮膚科、歯科
昭和53年4月	R I 室開設、病少数：85床に変更

昭和54年 5 月 二期工事竣工（病床数：171床）

昭和54年 6 月 新館での外来診療開始
診療科：内科、神経内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、外科、肛門科、小児科、皮膚科、理学療法科、放射線科

昭和59年 8 月 300床総合病院化計画に着手

昭和60年11月 木戸病院分館新築工事竣工

昭和60年12月 病床数を178床に変更

昭和61年 4 月 三期工事竣工（病床数：312床）
整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科診療を開始現在の19診療科となる

平成 3 年 透析ベッド増設、リハビリ施設充実、高橋眼科跡地を事務管理棟に改築

平成 5 年 5 月 心臓カテーテル室完成

平成 5 年12月 四期工事竣工（健診センター）

平成 8 年 3 月 石山診療所歯科を病院と統合

平成 9 年 7 月 MR I 導入

平成13年10月 日本医療評価機構より認定（一般B認定取得）

平成16年 4 月 厚生労働省より臨床研修病院指定
（新潟大学医歯学総合病院、富山医科薬科大学）、透析室増床（25床→29床）

平成16年 5 月 当日外来電話予約システムを開始

平成22年 1 月 電子カルテ稼動
新病院工事着工

平成23年 7 月 東区竹尾にて新病院開院
診療標榜科（一般内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、内分泌内科腎臓内科、消化器内科、神経内科、心療内科、精神科、小児科、産婦人科、外科、消化器外科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科）

平成24年 4 月 病院敷地内に病児保育室「きどっこ」開設

平成24年 9 月 日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.6 を受審

平成24年12月 日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.6 に認定

平成25年 4 月 旧病院敷地に複合施設「なじょも」開設

平成25年 4 月 木戸病院 院長に阿部 要一が就任

平成25年 6 月 新潟医療生活協同組合理事長に矢田 省吾が就任

平成26年 9 月 基幹型臨床研修病院指定

平成26年10月 複合施設「なじょも 4 号館・5 号館」が開設

平成27年 4 月 木戸病院 院長に津田 隆志が就任

平成27年 6 月 新潟医療生活協同組合理事長に鈴木 克夫が就任

平成28年 4 月 病院敷地内に院内保育所「いちご畑」開設

4. 院内のご案内

木戸病院 〒950-0862 新潟県新潟市東区竹尾 4 丁目13-3
 TEL. 025-273-2151(代) FAX. 025-273-8360
 木戸病院ホームページ <http://kido.iryu-coop.com>

診療受付・診療時間・面会時間・休診日

診療受付／外来の受付は下記の予約センターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-432-472

携帯電話・公衆電話からは 025-273-2175

診療時間／午前9:00～午後5:00

第2・第4土曜日 午前9:00～午後12:30

休診日／日曜、祝祭日、第1・3・5土曜日

午後休診／毎週木曜日、第2・第4土曜日

面会時間／全日

(一般) 午前11:00～午後8:00

(産婦人科) 午前11:00～午後1:00 午後4:00～午後8:00

各階構成		
9F	消化器病センター(消化器内科 外科) 耳鼻科・泌尿器科	53床
8F	地域包括ケア病棟	54床
7F	小児科・皮膚科・眼科 循環器内科・呼吸器内科	50床
6F	産婦人科・整形外科・消化器内科 眼科・歯科口腔外科	50床
5F	糖尿病センター・腎臓内科・神経内科 循環器内科・緩和ケア病床10床	55床
4F	回復期リハビリテーション病棟	50床
3F	手術 手術室・中央材料室・病理検査室・薬剤部・ART(不妊治療) SPD(院内物品管理)センター・ME(医療機器保守管理)センター 医局・管理部門・病歴図書室・会議室	講堂 会議室 職員食堂
2F	外来 歯科・歯科口腔外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・皮膚科・外科 透析室・内視鏡室・化学療法室 放射線科(一般撮影室・X線TV室・血管造影室・骨密度検査室・マンモ検査室) 検査室(一般・細菌・生理検査)・患者ラウンジ・学生室	健診センター
1F	外来 総合受付・検査予約センター・内科・整形外科・小児科・神経内科・心療内科 救急センター・中央処理室(点滴・注射・採血) 放射線科(一般撮影室・CT検査室・MRI検査室・RI検査室) 相談室・生協加入コーナー・医事課・地域連携室 ボランティア室・Yショップ売店・医療材料販売/ドマーニ	COOP健康づくりクラブWith レストラン 美容室/ハートランド

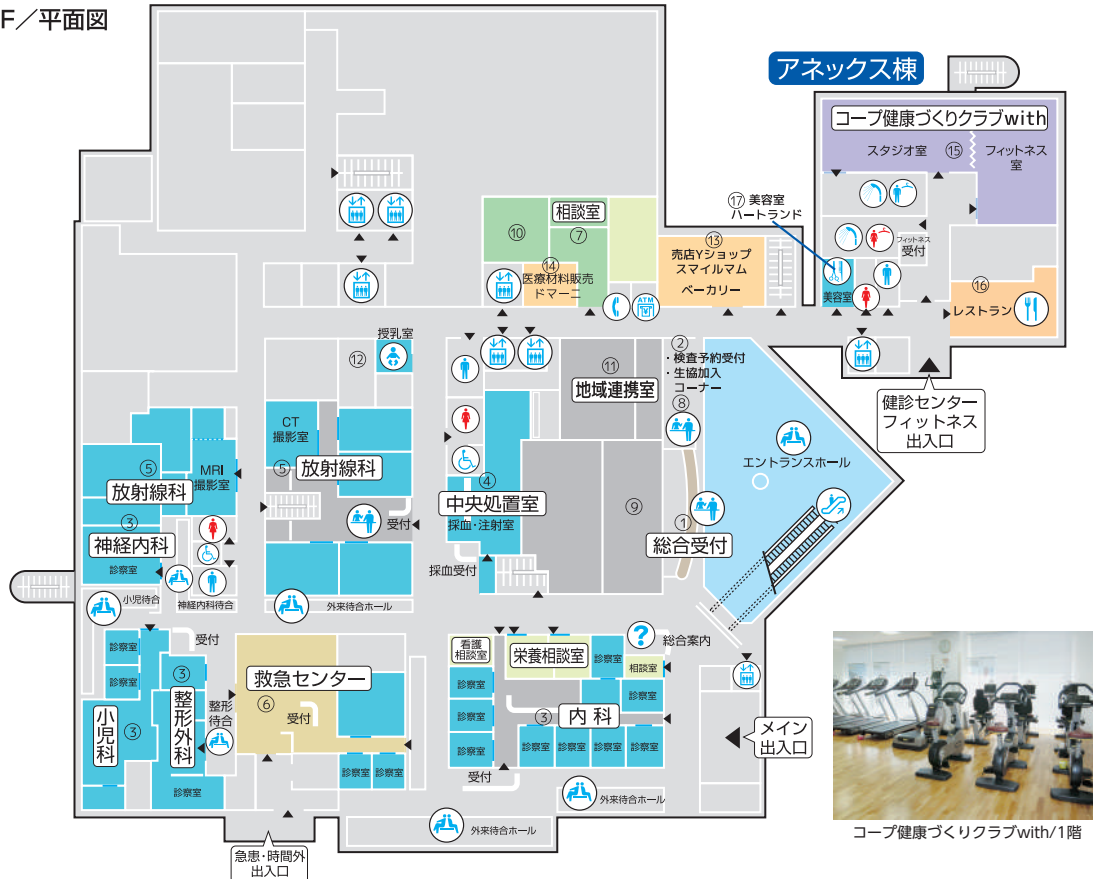
1 階ご案内

1 階のご案内

1F

- ①総合受付 ②検査予約センター ③外来（内科・心療内科・整形外科・小児科・神経内科）
 ④中央処置室（点滴・注射・採血）⑤放射線科（一般・CT断層撮影検査・MRI磁気共鳴画像検査・RI造影撮影検査）
 ⑥救急センター ⑦相談室 ⑧生協加入コーナー ⑨医事課事務室 ⑩診療事務課事務室
 ⑪地域連携室 ⑫ボランティア室 ⑬Yショップ売店/スマイルママ ベーカリー ⑭医療材料販売/ドマーニ
 ⑮アネックス棟/COOP健康づくりクラブ「withウィズ」 ⑯レストラン ⑰美容室/ハートランド

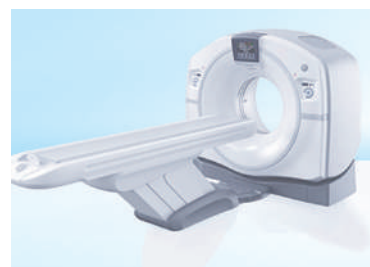
1F／平面図



コープ健康づくりクラブwith/1階



総合受付・エントランスホール/1階



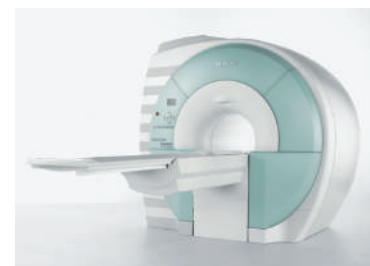
放射線科CT室/1階



内科外来受付・待合室/1階

Yショップスマイルママ/1階

レストラン/1階



放射線科MRI室/1階

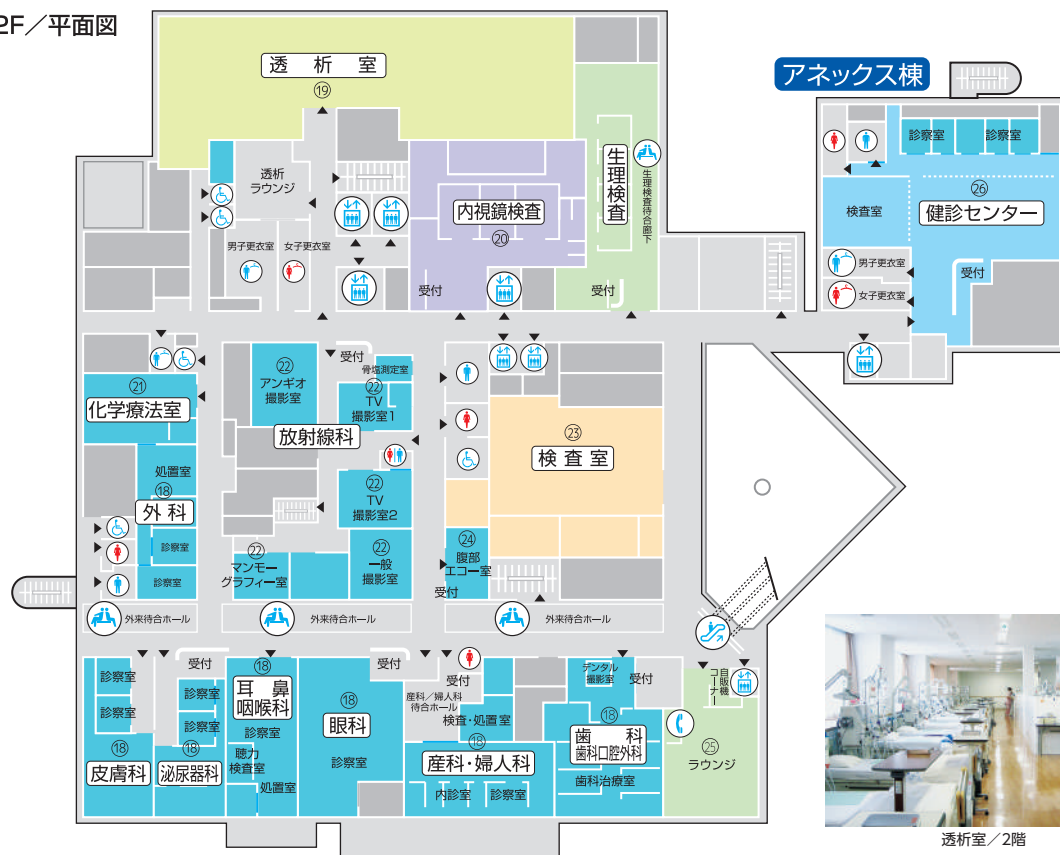
2 階ご案内図

2 階のご案内

2F

- ⑬外来（歯科・歯科口腔外科・産婦人科・眼科・耳鼻科・泌尿器科・皮膚科・外科）
- ⑭透析室 ⑮内視鏡室 ⑯化学療法室
- ⑰放射線科（一般撮影室・X線TV室・血管造影室・骨密度検査室・マンモ検査室）
- ⑱検査室（一般・細菌・生理検査） ⑲腹部エコー室 ⑳ラウンジ
- ㉑アネックス棟／健診センター

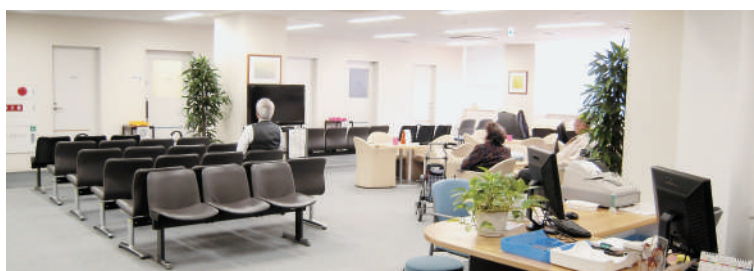
2F／平面図



透析室／2階



外科外来受付・待合室／2階



健診センター／2階



血管造影室／2階



内視鏡室／2階



ラウンジ／2階

3階～6階ご案内

3～9階のご案内

3階



手術室

4階



リハビリテーション室

6階

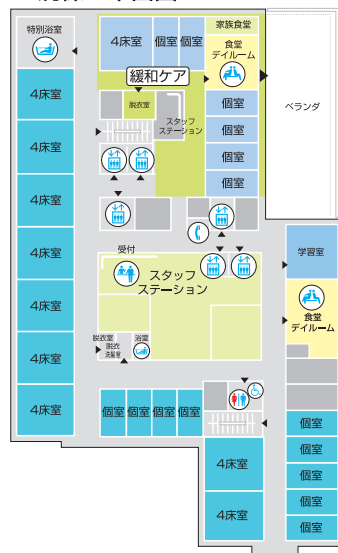


LDR室／陣痛～分娩～回復期を家庭にいるような
雰囲気の中で、お産ができるお部屋です。



産婦人科／個室 (シャワー、トイレ、洗面付)

5F病棟 / 平面図



9F病棟 / 平面図



4階～9階病棟 (312床)



4人部屋



個室



浴室



多目的WC



分散型WC



特別室

交通のご案内

《お車でお越しの方》

- ・新潟駅より車で15分。

《公共交通機関でお越しの方》

- ・バス

平成27年9月5日より、木戸病院行きのバスが変更されています。

- ・新潟交通

はなみずき線 E70：木戸病院―はなみずき―本馬越―新潟駅南口

竹尾線 E60：木戸病院―竹尾―新潟駅前―万代シティ

- ・区バス

石山方面先回り 松崎ルート

山の下方面先回り 松崎ルート

Ⅲ. 2016年度臨床指標・診療実績

部所	行 為	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
手術室	外 科	30	27	27	27	29	21	22	31	26	26	28	26	320
	整 形 外 科	23	19	14	25	25	21	25	31	35	34	21	30	303
	産 婦 人 科	4	4	10	8	9	7	12	11	10	2	9	13	99
	耳 鼻 咽 喉 科	3	1	2	1	4	2	2	2	3	1	1	3	25
	眼 科	32	32	35	28	38	22	37	31	27	33	33	27	375
	皮 膚 科	2	5	4	1	4	5	8	8	6	5	3	4	55
	内 科	1	1	3	0	0	1	2	0	1	1	0	1	11
	透 析	6	4	0	1	3	3	0	1	3	2	2	2	27
	歯科口腔外科	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	5
	泌 尿 器 科	1	3	5	1	2	4	2	1	3	3	0	4	29
	合 計	102	96	100	93	115	87	111	116	114	107	98	110	1,249
心カテ室	心臓カテーテル	12	14	11	9	14	14	7	12	9	9	13	9	133
	腹部アンギオ	1	3	3	5	0	5	4	3	0	1	1	1	27
	ペースメーカー	2	1	1	2	1	2	0	3	0	2	2	1	17
	合 計	15	18	15	16	15	21	11	18	9	12	16	11	177
内視鏡	胃 カ メ ラ	418	375	502	463	507	445	449	424	495	441	433	496	5,448
	大 腸 カ メ ラ	130	132	129	134	164	141	159	124	149	140	149	155	1,706
	E R C P	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	21
	気管支内視鏡	0	2	3	1	0	1	0	0	0	1	0	0	8
	緊急（止血術）	5	4	6	5	4	9	7	5	4	14	5	11	79
	合 計	555	515	642	605	677	598	617	554	649	598	589	663	7,262
放射線科	C T	525	509	607	559	626	622	590	623	632	602	542	624	7,061
	R I	14	22	34	37	29	24	21	39	33	36	25	31	345
	M R I	231	229	261	258	260	219	248	234	230	222	228	253	2,873
	骨 密 度	82	99	94	71	80	93	90	83	98	70	99	131	1,090
	合 計	852	859	996	925	995	958	949	979	993	930	894	1,039	11,369
検査室	検 体 検 査	8,506	8,238	9,356	8,429	8,679	8,433	8,489	8,327	8,574	7,879	7,685	8,631	101,226
	生 理 検 査	1,028	975	1,207	954	933	877	864	959	1,042	916	853	1,093	11,701
	細 菌 検 査	1,847	1,698	1,630	1,468	1,723	1,434	1,140	1,851	2,030	2,242	2,019	2,085	21,167
	合 計	11,381	10,911	12,193	10,851	11,335	10,744	10,493	11,137	11,646	11,037	10,557	11,809	134,094
栄養科	外来栄養指導	181	159	175	181	181	163	183	153	166	172	154	178	2,046
	入院栄養指導	49	37	47	49	31	45	52	55	37	38	47	51	538
	合 計	230	196	222	230	212	208	235	208	203	210	201	229	2,584
病理	剖 検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	組 織 診	191	185	207	185	203	203	220	195	203	179	186	204	2,361
	細 胞 診	341	363	456	417	401	456	436	452	454	305	355	304	4,740
	合 計	532	548	663	602	604	659	656	647	657	484	541	509	7,102
訪問リハビリ（回数）		184	166	189	184	182	192	212	220	208	201	213	257	2,408
臨床病理検討会		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

【産婦人科】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自然分娩	9	13	13	9	10	5	6	12	5	9	6	6	103
吸引分娩	2	4	2	3	3	0	3	2	0	3	1	3	26
帝王切開	2	1	5	1	5	2	2	5	4	1	3	3	34
分娩合計	13	18	20	13	18	7	11	19	9	13	10	12	163

【服薬指導状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	174	168	188	167	198	145	145	134	106	123	129	148	1,825
小児科	13	7	6	0	7	0	2	0	1	0	4	2	42
外科	56	54	71	58	73	62	65	54	61	58	61	62	735
皮膚科	6	4	9	2	4	1	2	1	1	1	2	0	33
歯科	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
産婦人科	4	3	7	7	2	0	2	1	0	1	1	0	28
整形外科	68	55	83	93	105	94	92	94	89	93	97	95	1,058
耳鼻咽喉科	4	2	3	2	9	1	1	0	4	2	9	4	41
眼科	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
神経内科	29	12	32	21	20	26	39	30	24	32	33	21	319
合計	355	305	400	350	419	329	349	314	286	310	338	332	4,087

【健診センター】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊ドック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日帰りドック	168	185	278	305	332	259	335	328	300	273	268	239	3,270
合計	168	185	278	305	332	259	335	328	300	273	268	239	3,270

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定健診	229	211	297	234	147	288	347	217	144	104	147	174	2,539

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定保健指導	9	14	21	10	9	12	13	13	13	3	12	13	142

【褥瘡推定発生率】 調査日に褥瘡を保有する患者－入院時にすでに褥瘡保有が記載されていた患者÷調査日の入院患者×100（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	6.1%	5.1%	3.5%	3.3%	3.0%	1.5%	2.4%	1.1%	0.4%	3.3%	1.0%	3.2%
2度以上	5.4%	3.9%	2.2%	2.4%	2.2%	1.5%	2.0%	0.7%	0.0%	2.5%	1.0%	2.9%

【病院褥瘡有病率】 調査日に褥瘡を保有する患者÷調査日の入院患者数×100（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	13.5%	6.7%	8.5%	9.0%	7.4%	3.9%	4.5%	3.9%	5.0%	9.7%	4.2%	7.6%
2度以上	12.0%	9.1%	6.7%	7.8%	6.1%	3.9%	4.1%	3.5%	4.1%	8.8%	4.2%	6.9%

【2016年度外来患者数】

初診患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1,321	1,305	1,472	1,280	1,481	1,284	1,341	1,503	1,497	1,131	1,179	1,288	16,082
診療日数	22	21	24	22	24	22	22	22	23	21	21	24	268

延患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	7,557	7,120	7,983	7,594	7,929	7,586	7,524	7,763	8,246	7,127	6,755	7,983	91,167
外科	697	682	811	671	813	766	703	741	832	651	726	813	8,906
小児科	677	617	664	616	685	655	760	937	1,029	605	672	710	8,627
皮膚科	1,010	939	1,096	989	1,119	1,026	1,055	946	968	890	843	979	11,860
整形外科	1,057	1,178	1,196	1,143	1,397	1,209	1,133	1,153	1,186	993	1,040	1,222	13,907
産婦人科	701	728	742	683	628	661	635	667	656	526	578	675	7,880
耳鼻咽喉科	630	605	651	620	622	617	644	616	659	594	599	698	7,555
泌尿器科	654	626	716	637	730	657	663	638	764	635	609	791	8,120
眼科	875	835	993	842	910	825	848	848	923	753	811	919	10,382
精神科	11	22	14	4	21	11	18	15	21	13	15	15	180
神経内科	432	421	445	433	472	417	427	437	483	390	383	489	5,229
歯科	1,343	1,291	1,558	1,558	1,611	1,575	1,640	1,648	1,869	1,563	1,342	1,495	18,493
合計	15,644	15,064	16,869	15,790	16,937	16,005	16,050	16,409	17,636	14,740	14,373	16,789	192,306
診療日数	22	21	24	22	24	22	22	22	23	21	21	24	268

【2016年度入院患者数】

新入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	426	443	413	415	479	401	429	433	435	450	417	430	5,171

延患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4,917	4,936	4,427	4,656	4,410	4,736	4,735	4,397	4,631	5,008	4,321	4,981	56,155
小児科	115	129	107	107	90	110	178	124	145	67	105	66	1,343
皮膚科	51	38	98	43	48	50	72	38	37	26	30	23	554
外科	734	781	746	777	724	683	851	744	797	810	776	803	9,226
整形外科	1,079	1,159	1,221	1,329	1,402	1,532	1,765	2,083	2,007	1,999	1,830	1,740	19,146
産婦人科	275	309	325	299	262	115	195	316	236	229	204	282	3,047
耳鼻咽喉科	109	86	114	119	288	180	163	83	164	154	153	156	1,769
神経内科	421	343	413	558	428	416	494	402	366	444	447	421	5,153
泌尿器科	2	6	10	2	11	10	4	1	12	17		6	81
眼科	100	85	89	68	101	48	111	74	82	104	74	76	1,012
歯科	35	38	37	48	41	37	45	3	3	4	23	4	318
合計	7,838	7,910	7,587	8,006	7,805	7,917	8,613	8,265	8,480	8,862	7,963	8,558	97,804
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

IV. 2016年度活動報告・研究業績

1. 診療部

【一般内科】

1. 活動報告

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【循環器内科】

1. 活動報告

診療体制

常勤医師 3 人、新潟大学循環器内科派遣医師 1 人（日本循環器学会認定循環器専門医 3 人）

外来診療

1 週間のうち循環器専門外来（予約）7 枠、高脂血症外来（予約）1 枠、内科新患外来 5 枠（土曜を含む）を担当。その他 2 回／月のペースメーカークリニック、5 回／週の R I ／運動負荷試験を担当する。心臓カテーテル検査枠は週 2 回枠。循環器専門外来のうち 3 枠、運動負荷試験のうち 2 枠、心カテの 1 枠は新潟大学循環器内科から、応援をいただいている。

入院診療

年間入院患者 509 人（うち急性心不全 113 人、急性心筋梗塞 25 人）平均在院日数 24.3 日。2016 年度の心臓カテーテル検査室の稼働状況は以下の通り。冠動脈造影と左室造影件数が前年度に比し大幅に減少しているが冠動脈 C T 導入の影響と考えられる（2016 年度冠動脈 C T 件数 134）。年間 P C I 件数は 47 と 50 件前後を維持している。

心カテ室稼働状況

（検査件数）	2015年度	2016年度	（治療件数）	2015年度	2016年度
冠動脈造影（P C I は除く）	129	87	緊急 P C I	16	11
左室造影	112	76	待機的 P C I	36	36
大動脈造影	8	6	ステント留置	46	42
血管内超音波検査	14	13	バルーン拡張術	6	4
冠血流予備量比測定	0	5	末梢血管 P T A	6	1
心筋生検	1	0	下大静脈フィルター挿入	2	2
電気生理学的検査	2	0	I A B P 挿入	3	2
			ペースメーカー植込	新規 12 交換 4	新規 11 交換 6

2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 山口利夫. 1 枚の心電図から何を考えるか？. 第 17 回コロキウム虚血性心疾患 in 新潟（2016／9／3, 新潟）

講演

その他

研究会座長

◇津田隆志

- ・特別講演「心不全再入院 ― どう対峙するか」. 第20回東新潟循環器研究会 (2016／6／3, 新潟)

◇山口利夫

- ・心不全の検査. 心不全チーム学習会 (2017／1／6, 新潟)

院内活動

◇津田隆志

- ・院長
- ・D P C 運用委員会委員長
- ・医療情報システム管理運営委員会委員長
- ・備品医材料購入委員会委員長
- ・S P D 委員会委員長 ほか

◇山口利夫

- ・副院長
- ・循環器内科部長
- ・基幹型臨床研修病院管理委員会プログラム責任者
- ・検査運営委員会委員長

【呼吸器内科】

1. 活動報告

診療体制

常勤医師 2 人

入院診療

2016年度の入院患者総数は322人で、内訳は呼吸器感染症158人、C O P D 8 人、気管支喘息15人、間質性肺疾患20人、肺癌23人、気胸 7 人、その他91人（重複なし）。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

企画開催

- ・第11回東新潟N H C A P 懇話会（2016／ 9 ／11, 新潟）
- ・第 2 回木戸病院吸入指導研修会（2016／10／20, 新潟）

研究会座長

◇成田淳一

- ・Respiratory Disease Discussion Meeting（2017／ 3 ／21, 新潟）

コメンテーター

◇成田淳一

- ・Meet the Expert（2016／ 9 ／11, 新潟）
- ・喘息治療エリアミーティング（2017／ 2 ／ 4, 新潟）

研究会幹事会

◇成田淳一

- ・新潟C O P D研究会幹事会（2016／ 6 ／23, 新潟）
- ・新潟チェストカンファレンス拡大幹事会（2016／ 7 ／30, 新潟）（2017／ 2 ／18, 新潟）
- ・新潟C O P Dリンク世話人会（2016／ 6 ／30, 新潟）（2016／11／24, 新潟）
- ・新潟呼吸器疾患研究会幹事会（2017／ 3 ／18, 新潟）

院内活動

◇成田淳一

- ・ 感染管理部門会議
- ・ 医薬品委員会
- ・ 地域包括病棟会議

◇河辺昌哲

- ・ クリニカルパス委員会
- ・ 保険請求検討委員会
- ・ 7 階病棟会議

【糖尿病内科・内分泌内科】

1. 活動報告

糖尿病センター

医師体制

2016年3月末大澤妙子先生が転勤され、2016年4月より山田絢子先生が着任されました。

津田晶子	S52年卒	日本内科学会認定内科医	日本糖尿病学会専門医	日本糖尿病学会研修指導医	日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	日本医師会認定健康スポーツ医
萩原智子	H9年卒	日本内科学会認定内科医				
濱 ひとみ	H11年卒	日本内科学会内科専門医	日本糖尿病学会専門医	日本透析学会透析専門医	日本腎臓病学会腎臓専門医	
山田絢子	H16年卒	日本内科学会認定内科医				
安藤麻理	H18年卒	日本内科学会認定内科医				

糖尿病センター 2016年度総括

1. 5人医師体制が継続できました。

- ・新患のアクセスが改善し、外来糖尿病教室受講者・紹介入院患者数ともに増加しました。
- ・入院診療体制が強化され、複数主治医制がとれるようになりました。
- ・糖尿病センター・スタッフ会議時間の時間内実施が図れ、スタッフ内コンセンサスUP・出席者の増加・業務改善につながりました。
- ・病休医師の新患外来枠診察も担いました。

2. 「第2病棟再編」により5階病棟が糖尿病患者さんの「入院から退院までの一貫した治療と療養指導」を担えるようになりました。一方、急性期病棟化に伴う、病棟看護師の超勤増加は持続し、引き続き業務改善を図っていく必要があります。

DPCスタートに際し下記の1・2・3の目標の両立をめざして、診療体制を見直し業務改善を図りました。

- 目標
1. 医療内容や患者サービスの内容を低下させることなく、維持・発展させる。
 2. 急性期病棟7：1を維持可能にする。
 3. チーム医療を過重なくスムーズにする。

① 初診時や、入院決定の際、また入院中に効率良く栄養相談や検査・服薬指導を実施できるようセット化しました。予約入院患者における入院後検査の減少を実現しました。あらかじめ退院前の個人栄養相談・服薬指導時間が予定されていることで、患者さん、スタッフともに計画的に実施できました。

② 急性期病棟、地域包括病棟やリハビリ病棟の効率的利用を目指しました。

- 1) 教育入院プログラムを「月曜スタート・土曜日まで」から「水曜スタート・火曜日まで」に変更し、主治医不在時の退院を避けることができ、充実した療養指導・退院指導が可能となり、急性期病棟での教育入院日数の短縮もでき、経済効果も上がっています。
- 2) 教育入院からの土日の退院減にもつながりました。

- 3) 長めの入院が必要な方やリハビリが必要な方は地域包括病棟やリハビリ病棟へ転棟していただき、十分な治療を継続できるようにしました。
- 4) 運動療法では体力測定が定着し、夕方のストレッチのWithスタッフによる指導増加もあり患者さんの意欲UPがみられています。
- 5) 退院指導・病棟から看護外来への申し送りを改善しました。
- 6) インスリン指示が見やすいようにインスリン指示欄を改善し、採用インスリン製剤・経口剤の整理をしました。
- 7) PT/MSWも同席した病棟カンファランスが可能となりました。
- 8) 課題として、
 - A. 試験外泊の療養指導機会としての活用に習熟していきたい。
 - B. 土曜日の午後のナース講義が、人手の確保が大変ということがあります。→休日の土曜日であれば、手伝えると思います。
- ③ 栄養指導・服薬指導・内服薬管理がスムーズにできるよう栄養科・薬剤部と連携しました。糖尿病センタースタッフ会議を定期開催し、毎回学習会も実施しました。
 - ・内服薬管理システムが導入され、残薬管理が改善しました。
 - ・当院の「五感で学ぶ教育入院」について、Web講演会で発表しました。
3. 病診連携
 - ・病診連携室を通しての緊急の受診・入院依頼について引き続き開業医の先生からの紹介については、直接病状がうかがえるように電話を回してほしいです。
 - ・東新潟糖尿病懇話会開催と病診連携患者さんの登録台帳作成が課題として残りました。
4. 予防・健康づくり
 - ・新潟医療生協が目指す「健康長寿」のために健康づくりの一環として、
 - ① 世界保健デー企画として、「お花見ウォーキングinとやの潟」「外来ホールでの健康チェックと栄養科すこしおメニューやミエールシュガー展示・健康づくりパンフ配布」を実施し好評でした。
 - ② 2015年後は「健康生き生きチャレンジ」に企画段階から参加し、生協健康づくり課・栄養科・With・通りハが協力して「健康生き生き教室」「ストレッチ教室」「すこしお教室」を開催しましたが、2016年度は各事業体毎の実施となり課題を残しました。
 これらの実践が、組合員さんの現状をどう把握し、健康づくり運動にどう効果を上げたかを検証していくことにつなげていけるような計画が必要と思われます。
 - ③ 「体力測定+体組成測定」を健診受診者の希望者に受けていただける体制ができました。事業所に呼び掛けるなどして普及に務めたいと思います。

秋の職員健診では、生協連の補助を利用し、職員向け体力測定を16人に実施できました。
 - ④ Withは厚生労働省認定の「運動型健康増進施設」取得と「指定運動療法施設」の指定を目指します。
 - ⑤ 友の会活動

友の会事務局担当者が新しく決まり、友の会活動が再開でき、調理実習・日帰り温泉旅行が楽しく実施できました。

2017年4月から新潟県糖尿病協会事務局がNPOブルーサークルから新潟大学医歯学総合病院血液・内分泌・代謝内科へ変更となりました。

糖尿病センター 2017年度方針

1. 下記の目標のもと、診療体制を更に見直します

- 目標 1. 医療内容や患者サービス内容を維持・発展させる
2. 急性期病棟7：1を維持する
3. チーム医療を過重なくスムーズにする

1・2・3の目標を目指して業務改善を図ります。

- ① 医師5人体制・複数主治医制を活かし、新患のアクセスを良くし、お一人お一人にフィットした充実した外来診療・入院診療を実施し、病診連携を進めます。
- ② 急性期病棟、地域包括病棟やリハビリ病棟の効率的利用をします。
 - 1) 教育入院プログラム「水曜スタート・火曜日まで」の改善を図り、試験外泊を活かします。
 - 2) 長めの入院が必要な方やリハビリが必要な方は地域包括病棟やリハビリ病棟へ転棟していただき、十分な治療を継続できるようにします。
- ③ 新しいCGMを利用した診療、尿中塩分排泄量検査を利用した減塩指導を取り入れます。
- ④ 糖尿病センタースタッフ会議を充実させ、学習会・学生実習に力を入れます。

2. 病診連携をすすめ、台帳作成、東新潟糖尿病懇話会開催をします。

3. 予防・健康づくり

- ・新潟医療生協が目指す「健康長寿」のための健康づくり活動を院内各部署の協力で実践します。
- 「お花見ウォークinとやの潟」を今年も実施、雨天でしたが好評でした。
- ・「体力測定+体組成測定」を健診受診者の希望者が受けられるようにします。

4. 友の会活動

友の会活動を支援していきます。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 濱 ひとみ, 猪俣 繁, 安藤麻理, 大澤妙子, 荻原智子, 太田隆志, 矢田省吾, 津田晶子. 糖尿病性腎症病期による夜間高血圧頻度について. 第59回日本糖尿病学会年次集会 (2016/5/19, 京都)
2. 矢尾板恵美, 間 由美子, 中村 誠, 濱 ひとみ, 安藤麻理, 大澤妙子, 荻原智子, 津田晶子. 教育入院の運動療法に体力測定を取り入れて、入院前後3ヶ月の変化を検討. 第59回日本糖尿病学会年次集会 (2016/5/20, 京都)
3. 北澤 勝, 小川洋平, 長谷川 剛, 津田晶子. 新潟県でのI型糖尿病患者会活動の報告. 第46回新潟糖尿病談話会 (2017/2/11, 新潟)

講演

◇津田晶子

1. 糖尿病の薬物療法の進歩. 新潟市糖尿病対策推進協議会主催「糖尿病ミニ講座」(2016/7/24, 新潟)
2. 内科医から見た糖尿病治療と網膜症治療の進歩と課題. なでしこ会 (2016/9/13, 新潟)
3. 五感で学ぶ糖尿病教室と体験入院を目指して. 糖尿病Web講演会 (2016/11/8, 新潟)
4. 超速効型が発売して15年、インスリン治療はどのように変わったか: I型糖尿病のインスリン治療. インスリン治療を考える会 (2016/11/30, 新潟)
5. 糖尿病治療の進歩と課題. 糖尿病学術講演会 (2017/1/24, 新潟)

その他

学会活動

◇津田晶子

- ・日本糖尿病学会 (評議委員)
- ・日本先進糖尿病治療研究会 (世話人)
- ・第17回日本先進糖尿病治療研究会当番世話人
- ・新潟内分泌代謝同好会幹事
- ・新潟糖尿病談話会幹事
- ・新潟糖尿病臨床研究会幹事

学生講義

◇津田晶子

- ・新潟大学医歯学総合病院血液内分泌代謝内科非常勤講師
- ・新潟大学医学部M3系統講義「経口糖尿病薬」(2016/12/12)
- ・新潟大学医学部M3実習ミニ講義「糖尿病ケトアシドーシス・2型糖尿病」

◇津田晶子

- ・糖尿病センター長
- ・Coop健康づくりクラブ With 所長
- ・病棟再編検討会
- ・フィットネス委員会
- ・健康づくり委員会

【腎臓内科】

1. 活動報告

診療体制

常勤医師 3 人、嘱託医 1 人で外来、入院診療を行いました。9 月からは病休があり、糖尿内科、新潟大学腎膠原病内科より応援を頂きました。

経皮的針腎生検：8 件

手術：内シャント造設／再建術20件、長期留置型透析用カテーテル植込術 2 件、動脈表在化術 2 件などを施行しました。P T A（経皮的血管形成術）20件行いました。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表国内学会発表

1. 濱 ひとみ, 猪俣 繁, 安藤麻理, 大澤妙子, 荻原智子, 太田隆志, 矢田省吾, 津田晶子. 糖尿病性腎症病期による夜間高血圧頻度について. 第59回日本糖尿病学会年次集会（2016／5／19, 京都）
2. 矢尾板恵美, 間 由美子, 中村 誠, 濱 ひとみ, 安藤麻理, 大澤妙子, 荻原智子, 津田晶子. 教育入院の運動療法に体力測定を取り入れて、入院前後 3 ヶ月の変化を検討. 第59回日本糖尿病学会年次集会（2016／5／20, 京都）

講演

その他

院内活動

◇濱 ひとみ

- ・ 5 階病棟 病棟長
- ・ 接遇改善推進委員会
- ・ 糖尿病センタースタッフ会議
- ・ 感染管理部門会議

【消化器内科】

1. 活動報告

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【神経内科】

1. 活動報告

活動体制

4月から横関明子医師が赴任され、北原真紀子医師が5月より産休・育休に入りました。

入院診療

脳血管疾患（脳梗塞、脳出血）の急性期治療から回復期リハビリテーション、退院支援。神経変性疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症等）の診断と治療。アルツハイマー病など認知症疾患の合併症に対する入院診療が増加傾向でした。

外来診療

地域医療機関との連携により、認知症の診断・治療に関する紹介受診が多くなっています。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1. 高橋 俊昭. パーキンソン病の診断と治療. 東区エリア脳疾患セミナー（2016／4／28, 新潟）

その他

社会活動

◇高橋俊昭

- ・新潟市医師会 認知症相談医
- ・新潟市東区介護保険判定会議

院内活動

◇高橋俊昭

- ・接遇改善委員会
- ・リスクマネージャー委員会
- ・基幹型臨床研修病院管理委員会
- ・死亡症例検討委員会
- ・4階病棟副責任者
- ・5階病棟副責任者

【小児科】

1. 活動報告

診療体制

常勤医師 2 人、時短常勤医師 2 名（週 2 日、週 3 日のワークシェア方式）で活動診療にあたっている。

外来診療

月、火、水曜日は 2 診体制、木、金曜日は 1 診体制で一般診療を行っている。火曜日の 1 時30分からは乳児検診、金曜日の 1 時30分からと月、火曜日の 3 時から予防接種を施行している。第 2、4 土曜日は一般診療と生活習慣病外来を行っている。

入院診療

平成28年度の入院患者総数は244名、平均在院日数は5.5日であった。喘息や肺炎入院が多く、胃腸炎やけいれん疾患、川崎病の入院もそれに次いでいた。重症児は大学病院、市民病院に転院している。また、産科病棟の新生児診察を行い、異常のみられた新生児は当院で入院加療するほか、重症の仮死児は市民病院のNICUに搬送を行っている。

救急診療

新潟市の二次輪番事業に協力し、日曜日を含む年間41日の輪番を担当している。急患センターからの入院依頼、救急車の受け入れが主な業務ではあるが、開業医からの紹介入院も多い。

関連施設

生協事務所内に併設されている病児保育施設「きどっこ」での病児管理を行っている。保育士と連携しながら朝 8 時から夕方 6 時までの保育提供に勤めている。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 井口英幸, 園田香里, 樋浦 誠. CRP 高値を呈する低身長. 第16回新潟小児内分泌セミナー(2016/10/8. 新潟)

講演

その他

学会座長

◇樋浦 誠

- ・第26回全国病児保育研究大会 in にいがた（2016／7／17，新潟）

【産婦人科】

1. 活動報告

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【外科】

1. 活動報告

平成28年度の医師体制は阿部要一元院長、山田明副院長と渡邊智子外科部長及び富山大学消化器・腫瘍・総合外科のパート勤務医1名で4月より外科診療を始めましたが、8月1日より花井彰医師が新たに外科部長として赴任され常勤医は4名となりました。

外科は本年度も富山大学の関連施設として日本外科学会より認定を受け、日本消化器内視鏡学会の指導施設として消化器内科と連携し消化器科として診療をしています。

外科の指導施設としての富山大学消化器・腫瘍・総合外科教室においては残念ながら平成28年3月に塚田一博前教授がご逝去されましたが、平成29年4月より藤井努先生が教授に就任され、新たな外科教室創造に取り組まれています。

外来診療

外来患者数は延べ8,906人でした。疾患は消化器、乳腺を中心とした患者が多数を占めますが、最近では外来化学療法室で行う患者数が増加しています。

入院診療

入院患者数延べ人数は9,226人でした。手術を前提とした患者が多数を占めますが、その手術の内訳は全身麻酔下手術197、腰椎麻酔65、局所麻酔62件の324件でしたが、手術予定は284件で緊急手術が40件でした。主な疾患別手術件数は胃十二指腸44、小腸・大腸76、虫垂炎23、肛門6、肝臓6（肝切除）、胆嚢22、胆管膵13（膵頭十二指腸切除4）、成人鼠径・大腿・他ヘルニア77、乳腺30件でした。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1. 山田 明. 胃がん検診の重要性. 公開健康セミナー（2016/11/8, 新潟）
2. 花井 彰. 大腸癌の外科に携わって. 院内講演会（2016/9/8, 新潟）

その他

【整形外科】

1. 活動報告

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【泌尿器科】

1. 活動報告

診療体制

2015年4月から従来の新潟大学医師による週2回の外来診療から、木曜日は大学の出張医師、月・火・水・金曜日は北村が担当する外来診療に変更しました。

内視鏡、超音波、CT、MRIなどの画像検査、前立腺生検により、あらゆる泌尿器科疾患に対し診断可能となりました。

2016年8月から開始した排尿自立指導は36名に、前立腺生検は2016年度には27名に行われました。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 小林和博, 山崎裕幸, ビリーム・ウラジミル, 斎藤俊弘, 谷川俊貴, 川崎 隆, 北村康男, 原 昇, 富田善彦. 腎細胞癌根治術後の遅発再発に関する臨床病理学的検討 (早期再発症例との比較). 第104回日本泌尿器科学会総会 (2016/4/23, 仙台)
2. 斎藤俊弘, 山崎裕幸, ビリーム・ウラジミル, 小林和博, 谷川俊貴, 川崎 隆, 北村康男. 未治療 M1bc前立腺癌に対するドセタキセルを用いた内分泌化学療法. 第104回日本泌尿器科学会総会 (2016/4/25, 仙台)
3. 山崎裕幸, 斎藤俊弘, ビリーム・ウラジミル, 小林和博, 谷川俊貴, 川崎 隆, 北村康男. 抗アンドロゲン療法による膀胱癌再発抑制効果の検討. 第104回日本泌尿器科学会総会 (2016/4/25, 仙台)
4. ビリーム・ウラジミル, 小林和博, 川崎 隆, 斎藤俊弘, 谷川俊貴, 北村康男. Simultaneous or metachronous prostate cancer and bladder cancer, single institute analysis. 第104回日本泌尿器科学会総会 (2016/4/25, 仙台)
5. 北村康男, 江川真紀子, 佐藤恵美子, 笹岡ひかる, 田澤一枝, 藤野正和, 荒木祐子. 木戸病院における排尿自立指導料算定のための排尿ケアチームの設立. 第380回日本泌尿器科学会新潟地方会 (2016/12/10, 新潟)

講演

1. 北村康男. 悩んでいませんか「尿失禁・頻尿」. 新潟医療生活協同組合向け健康セミナー木崎総支部 (2016/11/11, 新潟)

その他

【皮膚科】

1. 活動報告

診療体制

長年にわたり当科における診療・研究・教育を担ってこられた猪股成美先生が、2016年6月に永眠されました。

2017年2月末で久保田医師が開業のため退職し、2017年3月から岩井由樹医師が勤務しています。常勤医師3人（日本皮膚科学会認定皮膚科専門医2人）の体制で診療しています。

外来診療

平日および第2・第4土曜の午前に2診体制で診療しています。2016年度の外来患者数は延べ11,860人（1日平均44.3人）でした（他科入院中の患者を除く）。エビデンスに基づいた診療を心がけており、コモンディーズについてはガイドラインに沿った診療を行っています。正確な診断のために、皮膚生検を積極的に施行しており、2016年度の病理検査数は149検体でした。病理診断は院外の皮膚病理専門医と当院皮膚科によるダブルチェックを行っています。

入院診療

2016年度の入院患者数は40人（延入院日数約554日、1日平均1.5人）で、平均在院日数は14.2日でした。疾患としては、蜂窩織炎と帯状疱疹が多く、その他、感染性滑液包炎、感染を伴う褥瘡、難治性皮膚潰瘍、熱傷、水疱性類天疱瘡、接触皮膚炎（パッチテストのための検査入院を含む）、薬疹、紅皮症、Kaposi水痘様発疹症を合併したアトピー性皮膚炎、自家感作性皮膚炎、皮膚腫瘍の短期入院手術などでした。他の診療所・病院からの紹介患者は積極的に受け入れましたが、当院には設置されていない陰圧室や集中治療室への入室が必要な患者は新潟市民病院や新潟大学に紹介しました。他科入院中の患者に対してはコンサルテーションによる診察に加えて、佐藤信輔医師が月2回褥瘡回診を行っています。

手術

2016年度の皮膚生検を含む手術件数は149件でした（創傷処理および皮膚切開術を除く）。皮膚生検・創傷処理・皮膚切開術以外の予定手術は手術室で行う方針としていますが、手術室での手術件数は56件でした。診療体制上、原則として執刀医1人での局麻手術に限定されるため、単純縫縮が可能な皮膚・皮下腫瘍の日帰り手術が中心であり、全麻手術・他科との共同手術・植皮や複雑な皮弁による再建が必要な場合、広範囲切除やセンチネルリンパ節生検・リンパ節郭清が必要な悪性腫瘍は新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院形成外科および新潟大学に依頼しました。

関連施設

月曜・火曜・金曜の午後に石山診療所で外来診療を行っています。また、老人介護保険施設ほほえみの里きど（週1回）、指定介護老人福祉／特別養護老人ホームあしぬま荘（月1回）、桑名病院（月2回）の診療も行っています。

2. 研究業績

論文・著書

英文原著

1. Hamada T, Sugaya M, Tokura Y, Otuka M, Tsuboi R, Nagatani T, Tani M, Setoyama M, Matsushita S, Kawai K, Yonekura K, Yoshida T, Iwatsuki K. Phase I/II Study of the oral retinoid X receptor agonist bexarotene in Japanese patients with cutaneous T-cell lymphomas. J Dermatol 44: 135-142, 2017.

その他

1. 佐藤信輔. 足の爪白癬（足爪の水虫）：爪白癬外用剤について. 新潟医療生協 473：3, 2016.

国内学会発表

1. 河井一浩, 久保田葉子, 佐藤信輔, 摺木陽久, 河辺昌哲, 成田淳一. 低用量ステロイド内服中にニューモシスチス肺炎を合併し死に至った水疱性類天疱瘡の1例. 日本皮膚科学会新潟地方会第383回例会（新潟大学医学部皮膚科学教室開講100周年記念地方会）（2016/10/1, 新潟）
2. 木村浄土, 濱 菜摘, 折目真里, 阿部理一郎, 久保暢大, 河井一浩. Kasabach-Merritt 症候群を伴った tufted angioma の1例. 日本皮膚科学会新潟地方会第384回例会（2016/12/17, 新潟）

講演

1. 河井一浩. 皮膚リンパ腫の診断：考え方と検査の実際. 新潟大学皮膚科カンファレンス（2016/8/3, 新潟）

その他

学会活動

◇河井一浩

- ・日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- ・日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（代議員）
- ・皮膚悪性リンパ腫ガイドライン策定委員
- ・J Dermatol (Section Editor)

学会座長

◇河井一浩

- ・第32回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 C P C リンフォーマ オーガナイザー（2016/5/27-28, 鹿児島）
- ・第32回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 ランチョンセミナー「CTCL 治療におけるタルグレチン®への期待」座長（2016/5/27-28, 鹿児島）
- ・院内講演会座長（2016/9/9, 新潟）
- ・日本皮膚科学会新潟地方会第383回例会（新潟大学医学部皮膚科学教室開講100周年記念地方会）一般

演題座長 (2016/10/1, 新潟)

- ・第80回日本皮膚科学会東部支部学術大会口演発表座長 (2016/10/29, 浜松)
- ・第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会一般講演座長 (2016/11/6, 東京)

Journal Review

◇河井一浩

- ・ J Allergy Clin Immunol (3編)
- ・ Sci Rep (1編)
- ・ Exp Dermatol (1編)
- ・ J Dermatol (47編)

研究

◇河井一浩

- ・ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科客員研究員

研究費

◇河井一浩 (代表)

- ・ 平成27-29年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 課題番号
皮膚におけるIL-13産生T細胞の分化機構

学生教育・講義

◇河井一浩

- ・ 鹿児島大学医学部非常勤講師
- ・ 鹿児島大学医学部M4講義「湿疹・皮膚炎」(2016/6/6)

院内活動

◇佐藤信輔

- ・ 褥瘡委員会

◇河井一浩

- ・ 研究部長
- ・ 皮膚科部長
- ・ 基幹型臨床研修病院管理委員
- ・ 医療情報システム管理運営委員
- ・ 地域包括室会議委員

【耳鼻咽喉科】

1. 活動報告

診療体制

基本的に常勤医師 1 人の体制で診療しているが、毎週月曜午後、および第 2・第 4 土曜の午前は新潟大学医歯学総合病院耳鼻咽喉科医師が 1 人代診医として診療していた。

外来診療

平日午前と月曜の午後、および第 2・第 4 土曜の午前に 1 診体制で診療している。2016 年度の外来患者数は延べ 7,862 人、1 日の平均は 4.8 人であった。当科では 1 泊 2 日の検査入院として終夜ポリソムノグラフィー（睡眠時無呼吸の検査）を行っているが、2016 年度は 166 人であり、入院患者の約 5 割を占めていた。

手術

2016 年度の手術件数は 25 件、全例を手術室で行った。鼻副鼻腔疾患に対する手術が最も多く 10 件であった。新潟大学医歯学総合病院耳鼻咽喉科より毎週 1 人が助勤として来院し、2 人で手術をおこなった。また、川名クリニックからの局所麻酔手術依頼を受け入れ、同クリニック院長が助手として 2 件手術を行った。

外来処置別患者数（月別）

		鼻咽腔・咽頭 ファイバー	鼓膜切開・ チューブ留置	穿刺細胞診	鼻粘膜焼灼術	その他	処置合計
2015年	4月	162	1	1	1	5	170
	5月	165	3	1	2	9	180
	6月	169	2	1	2	10	184
	7月	162	0	2	3	5	172
	8月	160	1	2	5	8	176
	9月	182	0	5	2	13	202
	10月	191	0	2	6	13	212
	11月	180	1	3	2	12	198
	12月	184	1	6	6	14	211
2016年	1月	154	2	1	10	10	177
	2月	159	0	0	11	11	181
	3月	219	7	1	9	12	248
平均		173.9	1.5	2.1	4.6	10.2	192.6

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 池田 良, 石岡孝二郎, 若杉 亮, 佐々木崇暢, 池田正直, 奥村 仁, 堀井 新. 脳膿瘍と眼窩骨膜下膿瘍をきたした菌性上顎洞炎の一例. 第55回日本耳鼻科学会総会・学術講演会 (2016/10/13-15, 宇都宮)

講演

その他

【リハビリテーション科】

1. 活動報告

外来診療

水曜午前の整形外科外来で再来・新患の診療を担当。主に回復期病棟からの退院患者とリハビリや介護に関する相談。

入院診療

2016年4月より回復期病棟の専従医として診療にあたる。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 本間 毅. 不幸中の幸い（自虐的世話役第2報）. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会（2016／5／11, 京都）
2. 本間 毅, 横田啓子, 永井貴子. 医療における対人援助としての退院支援を再考する. 対人援助学会第8回年次大会企画ワークショップ（2016／9／25, 横須賀）
3. 本間 毅, 横田啓子. 自己犠牲を払う介護者たちについて「自虐的世話役」（北山）という概念で考える. 第29回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会（2017／2／11, 広島）

講演

1. 本間 毅. 自己犠牲を払う介護者たち. 第101回新潟市医師会在宅医療講座（2016／5／11, 新潟）
2. 本間 毅. 指定発言. 日本語臨床フォーラムコンベンション2016（2016／7／18, 京都）
3. 本間 毅. 対人援助としての退院支援, 最近の教訓. 訪問リハビリテーション勉強会（2016／11／9, 新潟）

その他

【眼科】

1. 活動報告

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【放射線科】

1. 活動報告

診療体制

常勤の放射線診断医 1 名と非常勤・放射線診断医 1 名および遠隔画像診断システムにて、当院施行の C T ・ M R I ・ 核医学検査の画像診断を施行。

地域開業医・病院から当科へ紹介された画像検査・画像診断は、2016年度は計65件（C T 検査：55件 M R I 検査：10件）であった。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【歯科・口腔外科】

1. 活動報告

診療体制

鈴木、星名、藤田（旧性福原）の3人の常勤医師で歯科一般の外来診療を行っている。口腔外科は星名、摂食嚥下リハビリテーションは藤田が担当し、入院診療は主として口腔外科が行っている。

歯科

- ・口腔衛生管理、口腔疾患の早期発見、早期治療に努め、1ヶ月平均約150名の定期歯科検診を行っている。
- ・1ヶ月に延べ200～600名の医科入院患者に対して病室で口腔ケアを行った。歯科衛生士とカルテカンファレンスを行い、病状を把握した上で、個々の患者に応じた口腔ケアを心がけ、病状によって外来で歯科治療を行っている。
- ・平成28年9月から当院関連施設である介護老人保健施設「ほほえみの里きど」および複合施設「なじよも」へ歯科衛生士が週半日、出向き、利用者の口腔ケアや職員からの口腔衛生管理や嚥下の相談に応じている。

口腔外科

- ・平成28年度の近隣開業医歯科から口腔外科への紹介は216名、入院14名で、依頼内容は抜歯、菌性感染症の消炎処置、有病者・高齢者の歯科治療、嚢胞性疾患の治療、口腔粘膜疾患や口腔腫瘍の診断などが多い。病院歯科として開業医歯科からのニーズに応えられるように努めている。
- ・平成28年6月から外科の悪性腫瘍手術患者を中心に周術期口腔機能管理を開始した。
- ・入院患者は延べ316名で、診療内容の大半は抗血栓療法施行患者の抜歯であったが、口腔癌終末期の緩和ケアも受け入れている。

摂食嚥下リハビリテーション

- ・リハビリ科の言語聴覚士など多職種と連携し、摂食嚥下リハビリを行っている。
- ・平成28年度の嚥下内視鏡検査328件、嚥下造影検査17件であった。
- ・関連施設において月1回嚥下障害の相談を行っており、今後も積極的に介入をしていく予定である。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 星名由紀子. 緩和ケア病床における終末期口腔癌12例の臨床的検討. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会（2016／6／18－19, 山形）

講演

1. 藤田孝子. V E 評価のポイント. N S T 勉強会－臨港病院スタッフをゲストに迎えて－ (2016／ 4／20, 新潟)
2. 藤田孝子. お口の健康について. 新潟医療生協保険委員基礎講座 (2016／ 7／26, 新潟)
3. 藤田孝子. V E 検査の実際・評価のポイント. 新潟県言語聴覚士会第 3 回研修会 (2016／11／26, 新潟)

その他

【石山診療所】

1. 活動報告

診療体制

常勤医師 1 名、短時間勤務医師 2 名（内科 1、皮膚科 1 名）

外来診療

内科：丸山が平日の午前午後に来来を行っております。2016年 4 月より多田先生が健診センター専属となり、また、同年 9 月より太田先生が体調不良により休診され、2 名の医師の減員となりました。同年 4 月より金子香先生が就任され、現在、水曜日は 2 診体制で外来を行っております。

皮膚科：木戸病院の佐藤信輔先生より、月曜日、火曜日、金曜日の午後外来を行っていただいています。

一般診療は、午前 9 時から午前 11 時 30 分、午後 3 時から午後 5 時までの受付で外来を行っております。

平成 28 年度の外来延べ患者数は、内科 11,555 人、皮膚科 2,772 人でした。

平成 28 年 9 月から上部消化管内視鏡検査を開始しました。看護師数、医師数の都合上、週 1 回木曜日の朝に 1 件／日のペースで検査を行っています。

訪問診療

午後 1 時から午後 3 時までの間に訪問診療を行っています。

訪問診療は 1 日 1 ～ 2 件行い、対象患者数は 29 人・年間の往診、訪問診療件数は、285 件でした。ご本人、ご家族の意向で自宅、または小規模多機能型居宅介護「赤いふうせん」で看取った方は、11 人でした。

平成 28 年に石山訪問看護ステーションは訪問看護ステーションなじもと合併しましたが、合併前と変わらず訪問看護師と連携をとり、円滑に在宅医療を行っております。また、丸山が学会などで県内不在時、金子先生に在宅での看取りの代診を引き受けていただくことができました。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 丸山貴弘、佐藤みゆき、山本理香子、山田弘子、田中 学、川口みゆき、当院における医療生協の診療所として取り組んでいる地域医療について、第 10 回新潟県プライマリ・ケア研究会（2016／8／28、新潟）

講演

1. 丸山貴弘、最後に「生きていてよかった」と思えるために～在宅の看取りから思うこと～、木戸総支部牡丹山第一保険委員会健康セミナー（2016／7／22、新潟）
2. 丸山貴弘、診察室でよくある話と総代会での看取りアンケート結果から見てきたこと、石山総支

部わくわく健康セミナー（2016／11／26，新潟）

3．丸山貴弘．診療所の診療体制変更に伴う経営改善に向けた取り組み．2016年度医療福祉生協新専門
医制度対応検討院所長会議（2016／9／24，新宿）

4．丸山貴弘．当院における訪問診療について．ぽーちゅらかネット地域医療研修会（木戸、大形、石
山圏域地域医療連携ネットワーク）（2016／12／22，新潟）

その他

院外活動

◇丸山貴弘

- ・新潟市認知症サポート医養成研修終了（2017／1／22）
- ・第2回木戸病院ICLS（2017／12／11）（インストラクター）
- ・小規模多機能「赤いふうせん」BLS講習会（スタッフ）

◇佐藤みゆき

- ・小規模多機能型居宅介護「赤いふうせん」BLS講習会（スタッフ）
- ・小規模多機能型居宅介護「赤いふうせん」感染対策研修会（講師）

【木戸クリニック】

1. 活動報告

2. 研究業績

論文・著書

症例報告

1. 小野田行男, 横山祐一, 須永隆夫. 漢方治療により脳血流改善がみられたアルツハイマーの例－脳血流 SPECT による評価－. 日本東洋医学会研究 31: 45, 2016.
2. 犬飼賢也, 関 義信, 須永隆夫. 耳鳴に対する翳風への円皮鍼が有効であった3症例. 日本東洋医学会誌 68: 17-22, 2016.

講演

1. 須永隆夫. 生活習慣病の予防と治療に東洋の知恵－風邪・腰痛から癌まで操体法を活かす－. 南雲市健康づくり講演会 (2016/7/30-31, 鳥取)
2. 須永隆夫. 生活習慣病の漢方治療. 市民公開講座 (2016/9/3, 新潟)
3. 須永隆夫. 東洋の医療と知恵－漢方医学を中心として－. 第73回日本東洋医学会 南甲信越支部学術総会公開講座 (2016/10/16, 新潟)
4. 須永隆夫. きざみ・煎薬の基本. 薬剤師向け講演会 (2016/10/22, 新潟)
5. 須永隆夫. 長所を伸ばして欠点を消す操体法のススメ. 盛人大学 (2016/12/9, 川口)

その他

◇須永隆夫

- ・日本歯科大学浦浜漢方研究会 1回/4ヶ月
- ・新潟大学医学部あさひ漢方薬理研究会 1回/2ヶ月

セミナー

◇須永隆夫

1. 操体法のお伝え (毎週火曜日 木戸クリニック)
2. 漢方薬に親しむ (月1回 新潟メディアシップ)
3. 操体法を生活に活かす (月1回 新潟メディアシップ)

学生教育・講義

◇須永隆夫

1. 新潟薬科大学講義
2. 新潟大学医学部講義
3. 新潟大学歯学部講義

2. 看護部

1. 活動報告

看護部院内研修会

- ・開催総数 46回 延べ参加数 992名

看護部署内学習会

- ・開催総数 27回 延べ参加数 344名

看護部院外研修

- ・延べ参加数 136名
- ・2016年度重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修 8名
- ・認知症高齢者の看護実践に必要な知識 9名
- ・第5回下部尿路症状の排尿ケア講習会「排尿自立指導料」診療報酬対象研修 1名

実習生受け入れ

- ・学校法人 北都健勝学園 新潟看護医療専門学校 看護学科
- ・学校法人 新潟福祉医療学園 看護リハビリ新潟保険医療専門学校
- ・学校法人 新潟総合学園 新潟医療福祉大学 健康科学部 看護学科
- ・学校法人 国際総合学園 国際メディカル専門学校 看護学科
- ・国際メディカルテクノロジー専門学校

インターンシップ

- ・開催総数 5回 (2016/8/26), (2016/8/26), (2017/3/17), (2017/3/24), (2017/3/31) 参加人数 20名

高校生1日体験(看護協会)

- ・開催回数 1回 (2016/7/27) 10名

2. 研究実績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 清水洋絵, 杉山美穂, 山崎里穂. 転棟転落アセスメントシートの有効性の検証～転棟転落アセスメントスコアシートを改定して～. 院内看護研究発表会 (2016/7/6, 新潟)
2. 清水聡美, 川崎磨理模, 神尾陽子, 佐藤真里菜. 終末期患者の家族が望む看護～実態を知り今後の看護にいかす～. 院内看護研究発表会 (2016/7/6, 新潟)
3. 岡村真紀, 福留佳奈子, 小林 桂. 大腿骨人工骨頭と人工股関節手術の体位固定に関する取り組み

～マニュアルを作成して～. 院内看護研究発表会 (2016/7/6, 新潟)

4. 番場里子, 小泉里佳, 長谷川誓子. 高リン血症患者の自己管理を阻害する要因～看護師の指導の目線を見直す～. 院内看護研究発表会 (2016/7/6, 新潟)

講演

1. 舟越羊子. フットケア. 新潟市糖尿病対策推進協議会主催「糖尿病ミニ講座」. (2016/8/28, 新潟)

その他

院外活動

◇武田千秋

- ・公益社団法人新潟県看護協会 ナースセンター事業委員会 (委員長)

◇茅野ゆかり

- ・第17回コロキウム虚血性心疾患in新潟シンポジスト. (2016/9/3, 新潟)

◇小林若菜

- ・ICLSワークショップ インストラクター (下越病院). (2017/1/28, 新潟)

3. 医療安全管理室

1. 活動報告

管理体制

医療安全管理室は医療安全と感染管理の2分野に分かれ、それぞれ1名の専従看護師が配置されている。主な活動としては院内における医療事故の防止・感染管理の役割を担う。

また、両分野ともに加算を算定していることにより、多職種から構成されるチームとして活動し、カンファレンスや院内教育に力を注いでいる。近年は地域の医療の質向上のために新潟市東区の中核病院として院内の活動だけでなく、院外の活動にも積極的に参加している。

◇医療安全部門

主な活動内容

- ・医療安全管理委員会カンファレンス 1回／週
- ・リスクマネージャー会議 1回／月
- ・医療安全管理部門会議 1回／月
- ・患者サポートカンファレンス 1回／週
- ・医療安全リンクナース会議 1回／月

院内職員研修会

医療安全院内研修会 開催総数24回 延べ参加人数1,233名

主な研修

前期：医療安全研修「2015年度のインシデントのまとめ・good jobのころ」

後期：医療安全研修「言葉で防げる医療安全」

日本救急医学会認定 I C L S コース

急変時の対応（B L S）

法人内施設研修

- ・ほほえみの里きど：急変時の対応（B L S）
- ・赤いふうせん、石山診療所：急変時の対応（B L S）

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1. 三膳景子. 看護職員再就職支援講演会「現場に生かすリスクマネジメント」. 新潟県看護協会・新潟県ナースバンク（2016／6／28, 新潟）（2016／11／21, 新潟）

その他

学生講義

◇三膳景子

- ・新潟看護医療専門学校非常勤講師
- ・新潟看護医療専門学校 臨床適応Ⅰ（医療安全）（2016／10／4）

院外活動

◇医療安全管理者 三膳景子

- ・公益社団法人新潟県看護協会 医療・看護安全委員長
- ・医療安全管理ネットワーク会員

◇感染管理部門

主な活動内容

- ・ICTカンファレンス 1回／週
- ・院内感染防止対策委員会 1回／月
- ・感染防止対策加算地域連携施設間カンファレンス 4回／年
- ・感染防止対策地域連携加算 相互カンファレンス 2回／年
- ・看護部感染リンクナース 1回／月

感染対策研修会

感染管理院内研修 開催総数15回 延べ参加数1,032人

主な研修

前期：感染管理研修「針刺し事故の現状と血液体液暴露後の対応」

後期：感染管理研修「インフルエンザ対策」

法人内施設研修

- ・コープケアカレッジ（なじょも）：喀痰吸引等研修，清潔保持と感染予防
- ・赤いふうせん：感染予防の基本～標準予防策を中心に～，調理に関する衛生管理
- ・ほほえみの里きど：ノロウイルスと吐物処理，感染対策ラウンド

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1. 武田 惇，病院環境改善に必要な委託業務者への関わり方，第2回新潟感染対策講演会（2016／10／29，新潟）

その他

学生講義

◇武田 惇

- ・新潟看護医療専門学校非常勤講師
- ・新潟看護医療専門学校 基礎看護技術Ⅰ（2016／6／1），（2016／6／13）

院内活動

◇武田 惇

- ・感染管理認定看護師

院外活動

◇感染管理認定看護師 武田 惇

- ・感染管理ネットワーク新潟、新潟医療関連感染制御コンソーシアム 看護師部会会員
- ・近隣病院からの感染管理に関するコンサルテーション業務（アウトブレイク支援など）

4. 薬剤部

1. 活動報告

平成28年度

- ・処方件数 119件（1日平均）
- ・注射セット件数 130.6件（1日平均）
- ・服薬指導件数 358.3件（1ヶ月平均）
- ・抗がん剤調製件数 72.3件（1ヶ月平均）

実習生受け入れ

- ・新潟薬科大学 I期（5月9日～7月24日） 2名
- ・新潟薬科大学 II期（9月7日～11月22日） 1名

学会・研修会・勉強会への参加

- 5月13日 カドサイラ点滴静注用の適正使用 14名
- 8月27日～28日 日本病院薬剤師会関東ブロック第46回学術大会 4名
- 8月1日 高血圧に於る個別治療 14名
- 9月17日～19日 第26回日本医療薬学会年会 1名
- 12月3日 DPCデータ調査研究班セミナー 1名
- 12月9日 糖尿病Webセミナー 2型糖尿病治療薬 5名
- 2月22日 DOACの特徴について Hokusai-VTE サブ解析を中心に 12名

ICT活動

- 7月 第1回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算II みどり病院）
前期全職員研修会 「院内針刺し事故の現状と血液体液暴露後の対応」について
- 9月・10月 感染防止地域地域連携施設相互チェック（新潟医療センター）
- 10月 第2回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算II みどり病院）
- 12月 後期全職員研修会 「ワクチンと抗ウイルス薬によるインフルエンザの予防」について
第3回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算II みどり病院）
- 3月 第4回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算II みどり病院）
施設間カンファレンスと毎週金曜日 ICTカンファレンスで抗菌薬使用状況について報告。抗MRSA薬のTDMをほぼ実施。抗菌薬使用届提出率向上のため提出されていない処方医に文書で報告。意識付けしてもらい適正使用に貢献。

糖尿病教育入院

糖尿病教育入院6日目に「お薬について」と7日目「個人服薬指導」を担当しています。教育入院の前後にも服薬指導を実施できるよう努めています。

リスクマネージャー活動

平成28年度の薬剤部におけるインシデント総数は29件、うち確認忘れが2件、確認不十分が27件となっています。殆どの事例ではシステム・マニュアルに不備はなく、すべき事を確実に行えば防げる事象でした。思い込み・先入観を排除し、声だし・指差し確認を確実に行っていきたいと思います。

マニュアルの改善事項

麻薬金庫の鍵は使用後定位置に戻す。定時にキーボックス内の確認を行う。

無菌室の安全キャビネット内に針捨てBOXを設置、使用後速やかに針捨てBOXに破棄する。

徹底事項

事の大小に関わらずインシデントが発生した場合は職場長・リスクマネージャーに速やかに報告。リスクマネージャーは職場長とは別に情報収集を行う。

今後の取組み

他部署との連携・協議を踏まえて院内共通ルールの策定を行う。

N S T 活動

対象患者の点滴及び内服薬の動向を確認し、毎週水曜日に行われるN S T回診で情報の提供や改善策があれば行った。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1. 木島浩子. ワクチンと抗ウイルス薬によるインフルエンザの予防. 医療安全・感染対策研修会（2016／11／28－12／2，新潟）

その他

5. 診療技術部

【検査科】

1. 活動報告

I C T（感染制御チーム）、N S T（栄養サポートチーム）、糖尿病診療、臨床研究支援など、様々な場面で臨床検査技師が活躍してきた。超音波検査士をはじめとする各種認定資格を有する技師の養成を行い、安心と信頼のおける臨床検査を実施できるよう日々努めてきた。更に昨今法律の改正により、厚生労働省の指定講習会を修了した臨床検査技師が、国家資格として一部の検体採取業務に従事することが可能となった。これにより外来患者様への検体採取等の業務拡大を図り、看護部、診療部からも高い評価を得ることが出来た。輸血検査の分野においては全自動輸血検査装置を導入し、輸血の発注から出庫まで検査科で一元管理を実現し、システム化することによって輸血ミス防止に努めることが出来た。また、腹部エコー検査の業務を拡大し、医師に代わって臨床検査技師が検査をすることで、診療支援や患者サービスの向上を図ることができた。

精度保証認証施設（第14-0095号 日本臨床衛生検査技師会・日本臨床検査標準協議会）2014年4月1日～

参加外部精度管理

- ・日本臨床検査技師会臨床検査精度標準管理調査
- ・日本医師会臨床検査精度管理調査
- ・日本総合健診医学会精度管理調査
- ・新潟県臨床検査精度管理調査

スタッフ構成

- ・臨床検査技師18人（男性5人、女性13人）
- ・助手1人（女性）

定例会議

- ・毎月1回 第2木曜日開催

実習生受入

- ・新潟医療福祉大学臨床技術学科 2人（2016／6／20－7／15）

2. 研究業績

論文・著書

その他

1. 渡邊桃子. 新たな業務拡大～より良いインフルエンザ検査をすすめます～. 新潟医療生協 483：7, 2017

学会発表

国内学会発表

1. 高橋裕輔. 透析療法の実際の運用状況について. 第5回新潟支部臨床化学班研修会講演(2016/7/2, 新潟)
2. 渡辺友子, 鎌田真由美, 渡邊桃子, 若山正隆. 臨床検査技師による検体採取への業務拡大～インフルエンザ流行期の新たな外来診療のかたち～. 第5回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会(2016/10/1-2, 新潟)
3. 鎌田真由美, 若山正隆. 自己融解した肺炎球菌のPCR法を用いた莢膜抗原検査. 第28回日本臨床微生物学会(2017/1/20-22, 長崎)

講演

1. 渡邊桃子. 臨床検査技師による新たな業務拡大～インフルエンザ検査のための検体採取～. 実践発表会(2016/11/12, 新潟)
2. 若山正隆. 今シーズンのインフルエンザ流行予測と検査キットの重要性. 医療安全・感染対策研修会(2016/11/28-12/2, 新潟)
3. 鎌田真由美. C L S I について学ぼう! ～はじめの一步～. 第126回新潟支部微生物研究会(2016/9/10, 新潟)

その他

学会座長

◇味方憲人

- ・第62回新潟支部血液研究班研修会座長, 血球形態の見方、考え方、報告の仕方(2016/2/9, 新潟)

院外活動

◇高橋裕輔

- ・新潟県臨床検査技師会新潟支部臨床科学検査研究班員

◇神林真弓

- ・新潟県臨床検査技師会新潟支部副支部長

◇齊藤亜紀

- ・新潟県臨床検査技師会新潟支部血液検査研究班員

◇鎌田真由美

- ・新潟県臨床検査技師会新潟支部細菌検査研究班員

◇若山正隆

- ・感染防止加算連携施設間カンファレンス(加算 みどり病院) 4回
- ・感染防止地域連携施設総合チェック(加算 新潟医療センター) 1回

◇味方憲人

- ・新潟県臨床検査技師会新潟支部血液検査研究班長

国家資格・認定資格

- ・臨床工学技士 1人
- ・検体取得等に関する厚生労働省指定講習会修了者 9人
- ・循環器領域超音波検査士（日本超音波医学会） 3人
- ・認定心電図検査技師（日本臨床衛生検査技師会） 1人
- ・緊急臨床検査士（日本臨床検査医学会） 1人
- ・生殖補助医療胚培養士（日本卵子学会） 2人
- ・不妊カウンセラー（日本不妊カウンセリング学会） 2人
- ・肝炎医療コーディネーター（新潟県） 1人

【病理検査科】

1. 活動報告

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【放射線科】

1. 活動報告

スタッフ構成

診療放射線技師	11名（男性9名 女性2名）
看護師	2名

撮影装置

一般撮影装置	4台
X線透視装置	2台
C T装置（64列）	1台
M R I装置（1.5T）	1台
核医学診断装置	1台
心臓血管撮影装置	1台
骨密度測定装置	1台
X線乳房撮影装置	1台
パントモ・セファロX線装置	1台
術中外科用X線透視装置	1台
移動型X線撮影装置	3台

業務実績

検査実績

一般検査（マンモ撮影含む）	15816件
健診（胸部・マンモグラフィー）	10714件
ポータブル撮影	3398件（手術室 482件）
手術室透視	154件
骨密度検査	1090件（健診 415件）
胃・注腸検査	4276件（胃健診 4072件）
C T検査	7061件（造影剤使用 2778件）
M R I検査	3873件（造影剤使用 363件）
核医学（R I）検査	345件
血管造影検査	222件（循環器161件 消化器26件 その他35件）

紹介・委託件数

紹介件数

C T検査	50件
M R I検査	12件
R I検査	0件

委託件数

C T検査	4件
M R I検査	537件
R I検査	36件

放射線科会議

毎月1回

- ・インシデント報告・討議
- ・各モダリティからの報告・方針・討議等
- ・各所属委員からの報告・討議

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 三浦建一，小山内彩乃．骨盤腔領域における Care bolus 法の比較検討．第13回新潟MAGNETO M研究会（2016／11／5，新潟）

講演

その他

院外活動

◇主任放射線技師 小熊義則

- ・（一版社団法人）新潟県診療放射線技師会理事、編集・広報部長として活動中
- ・「診療放射線技師の業務拡大」に伴う講習会講師として活動中

◇主任放射線技師 当銀克己

- ・新潟アンギオ画像研究会、世話人として活動中

【リハビリテーション科】

1. 活動報告

院内勉強会

リハビリテーション科全体

- ・平成28年4月～8月まで新入職員研修プログラム、毎日1時間30分程度
- ・リハビリテーション科会議に合わせて、BLS研修、上記発表者・看護部・本間医師より学習会など

理学療法部門

- ・定例勉強会：上記研修期間を除く月に、月1回30分程度
- ・症例検討会：回復期チームは週に1回
急性期チームは月に2回程度

言語聴覚療法部門

- ・定例勉強会：毎月1回

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 渡邊 司. 開発途上国における腰痛と運動に関するスペイン語と英語のレビュー. 日本国際保健医療学会第31回東日本地方会 (2016/5/21, 和光)
2. 田村良太, 岩井 勇, 本間 毅. 当院回復期リハビリテーション病棟における自宅復帰の現状と課題～FIM値を用いた検討～. 第29回復期リハビリテーション病棟協会in広島 (2017/2/11, 広島)
3. 渡邊 司. スペイン語圏諸国における慢性腰痛患者に対する自主練習メニューの有用性. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会 (平成28年10月29日, (2016/10/29, 横浜))
4. 鈴木裕美, 大野千佳. 他事業所との連携が本人の自信回復と活動意欲向上に繋がった一例. 第8回日本訪問リハビリテーション協会学術大会in東京 (2016/6/17-18, 江戸川)

講演

その他

社会活動

◇本田俊一

- ・新潟県リハビリテーション専門職協議会地域包括ケアマニュアルワーキンググループ運営
- ・第5回新潟県言語聴覚士会学術大会 企画運営 (2016/6/14)

◇渡邊 司

- ・青年海外協力協会、JICAボランティアセミナーにて体験発表
- ・帰国青年海外協力隊員等の天皇皇后両陛下ご懇談（2016／9／15）

◇江川真司

- ・新潟県理学療法士会学術局員・企画運営
- ・新潟県理学療法士会研修会準備委員長（年1回）

【栄養科】

1. 活動報告

人員構成：管理栄養師 5 名 調理師 12 名 調理員 4 名 事務員 1 名

給食数：平成28年度218,131食（前年比101%）特別食加算算定食57,861食（前年比87%，算定率26.4%）

栄養管理計画書作成数：6,410枚（入院時2,278枚／再評価2,196枚／退院時1,936枚）

栄養指導

集団：糖尿病教育入院 1 週間コース（講義担当 3 日間＋個別指導）年間 9 回実施（参加者56名／年）

糖尿病・肥満教室（1 日体験型・昼食付）年間12回実施（参加者外来51名／年，入院16名／年）

個別：入院時食事指導466件（糖尿病・心疾患・胃切除術後・慢性腎臓病・ESD後・嚥下障害等）

外来食事指導1,995件（透析予防療養指導215件／年，外来透析患者指導326件／年含む）

調査 嗜好調査：2 回／年

残食調査：1 回／年

チーム医療への参加

カンファレンス：NST 1 回／月（山口・山岸）（回診 1 回／週）

褥瘡 1 回／月（福田）（回診 2 回／月）

緩和 2 回／月（山口）

回復期リハビリ病棟 1 回／週（山岸）

糖尿病センタースタッフ会議 隔月開催（山賀・山口）

心不全 2 回／月 学習会 1 回／月（山口）

科内学習会・ミーティング：月 2 回30分程度

各種会議概要の伝達、班活動の発表や討議、院外研修会の伝達講習等

実習生受け入れ

・管理栄養師養成課程：新潟県立大学 2 週間 2 名

・調理師養成課程：新潟調理専門学校 2 週間×年 3 回 計 5 名

健康づくり委員会事業への参画：担当 山賀新一郎

・2016／5／30 すこしお料理教室 調理実習 櫻井調理師長と実施

・2016／7／2 保険委員会総会 講演「すこしお生活」推進セミナー

・2016／7／20 保険委員会基礎講座 講演「バランスの良い食事」

・2016／9／27 すこしお料理教室 調理実習

・2016／10／10 健康まつり「すこしお体験 血管が喜ぶ塩分濃度はどっち？」

味噌汁体験コーナー 参加者439名

・2017／1／30 すこしお料理教室 調理実習

糖尿病患者会（糖友会）活動への参加

- ・2016／11／19 すこしお生活料理教室

世界保健デー 2016／4／7 病院ロビー「ミエールシュガー」作成し展示（糖尿病関連展示等の一環として参加）

2016年度 まつり実行委員会 事業所実行委員長 山口朝子

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1. 山口朝子. 若年発症1型糖尿病患者における血糖変動予測と治療行動の変化～モデル食を用いて～. 第46回新潟県糖尿病談話会（2017／2／11, 新潟）
2. 山口朝子. 糖質摂取量が不安定な1型糖尿病患者の症例. 新潟県糖尿病対策推進会議総会（2017／3／18, 新潟）

講演

1. 山岸彰子. 1人暮らしの方へ～具体的な食事の工夫・コツについて. 新潟市糖尿病対策推進協議会主催「糖尿病ミニ講座」（2016／7／24, 新潟）
2. 山口朝子. 五感で学ぶ糖尿病教室と体験入院をめざして. 糖尿病Webセミナー（2016／11／8, 新潟）
3. 山口朝子. 栄養学の観点からみた糖尿病食事療法の実際. 日本糖尿病協会糖尿病とおいしく生きようプロジェクト（2016／11／11, 新潟）
4. 櫻井 正. 病院の調理師としての業務について. 新潟調理師専門学校就職ガイダンス（2017／2／16, 新潟）

その他

院外活動

◇山賀新一郎

- ・新潟市病院給食研究会副理事長 企画運営

◇山口朝子

- ・新潟県臨床栄養研究会役員 企画運営
- ・糖尿病専門医／管理栄養師のレクチャー付き料理教室（2016／11／11, 新潟）
- ・新潟小児糖尿病キャンプコアスタッフとして企画運営（2016／8／16～8／18, 新潟）
- ・キャンプ中 管理栄養師講座担当（2016／8／16, 新潟）
- ・ミニ勉強会「1型糖尿病質問コーナー」管理栄養師スタッフとして参加（2016／10／22, 新潟）

◇山岸彰子

- ・新潟県臨床栄養研究会 会計・企画運営

査読委員

◇山口朝子

- ・新潟県糖尿病患者向けテキストVol.1 「知っておきたい糖尿病～やさしく学ぶための第一歩」

院内活動

院内研究会・学習会・勉強会

- ・山岸彰子，木戸病院の栄養管理フローチャートについて，NSTカンファレンス・学習会（2016／6／15，新潟）
- ・栄養科・リハビリテーション科（言語聴覚士）共催 摂食嚥下学習会
講演「学会分類2013（食事）（とろみ）について
実習「当院の食事分類」
ほほえみの里・あし沼荘・風の笛・なじょも 管理栄養師と介護士等も参加して開催

資格取得

◇山口朝子

- ・日本糖尿病療養指導士
- ・NST専門療法士
- ・病態栄養認定管理栄養師

◇山岸彰子

- ・新潟県地域糖尿病療養指導士

◇新村友子

- ・日本糖尿病療養指導士

学会所属

◇山口朝子

- ・日本静脈経腸栄養学会
- ・日本病態栄養学会

◇山岸彰子

- ・日本静脈経腸栄養学会

【臨床工学科】

1. 活動報告

臨床工学科体制 臨床工学技士 8 名

2016年度業務実績（修理・点検等）

・手術室業務

眼科白内障手術 眼科硝子体手術

整形外科関節鏡手術 整形外科自己血回収装置操作

耳鼻咽喉科内視鏡下手術

麻酔器点検

・ペースメーカー業務

植込み業務（電池交換含む）

設定変更業務

外来フォローアップ業務

遠隔モニタリング業務

・透析業務

業務診療（月・水・金）午前・夜間

（火・木・土）午前・午後

特殊療法業務

（CHDF・腹水濾過濃縮再静注法・エンドトキシン吸着・LDL吸着・白血球除去療法）

透析用監視装置（定期点検・修理等）

実習生受入

- ・新潟医療福祉大学（4週間） 2名

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院内研究会・学習会・勉強会

- ・輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会. 新人看護師対象16名参加（2016／5／13）

- ・シリンジポンプ勉強会（新機種導入にて）. 各部署看護師対象88名参加（2016／9／27－30）

- ・ N P P V 勉強会. 新人看護師対象15名参加 (2016／11／24)
- ・ シリンジポンプ勉強会 (新機種導入にて). 看護師対象 6 名参加 (2016／11／24)
- ・ 人工呼吸器 Servo 勉強会. 新人看護師対象17名参加 (2017／ 1 ／25)

6. 事務部

1. 活動報告

事務部は、診療事務課・医事課・庶務課の3課で構成され、医師事務作業補助および医局事務、診療報酬請求事務、院内の庶務に係る業務を行ってきました。

2015年度より開始した病院機能を強化するための病棟再編第2段階として、療養病棟を退院支援に特化した地域包括ケア病棟に変更しました。また、回復期リハビリテーション病棟では休日リハビリテーションの提供を開始し、回復期リハビリテーション入院料1の施設基準の届出をおこないました。

DPCでは機能評価係数を上げるための提案を行いましたが、結果として2017年度の機能評価係数は後発医薬品指数の低下により、全体として0.0014減少することになりました。

医師事務作業補助者は、医師事務作業補助体制加算1を取得しており、病棟、外来診察室で医師が治療や診療に専念できるように事務的補助や書類作成補助（4,822枚）を行いました。医局事務は医師の福利厚生、出張届など診療以外の部分のサポートを行いました。

2. 研究業績

論文・著書

原著論文

1. 萩野直路, 丸山公男. 水俣病は中毒症として解決を－新潟水俣病公表51年－. 環境と公害 42:46－51, 2016

学会発表

講演

その他

研修

- ・医師事務作業補助マネージメントセミナー（日本医師事務作業補助研究会）
- ・医師事務作業補助者32時間研修

7. 地域包括部

1. 活動報告

科別紹介患者数

	内科	耳鼻科	産婦人科	小児科	整形外科	外科	皮膚科	眼科	泌尿器科	心療内科	神経内科	歯科	計
合計(件)	3,164	423	190	225	378	256	170	253	279	1	291	216	5,846
入院(件)	892	164	56	167	200	101	8	76	2	0	58	5	1,729

入院率29.6%

紹介率・逆紹介率

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
紹介率 (%)	32.1	41	46	53.4	55.3
逆紹介率 (%)	15.4	20.2	27	30.2	32.7

医療相談状況

援助内容	(件)
受療に関する	773
経済問題	14
背景把握	132
不適応援助	0
諸問題援助	349
制度利用	334
社会復帰	2,718
アフターケア	69
その他	344
計	4,733

援助方法	(件)
面接	1,916
院内連絡調整	362
電話 文書	2,453
院外訪問	2
計	4,733

木戸病院居宅介護支援事業所状況

新規受け入れ 52件

終了後 37件

介護保険認定調査数

96件

9件

レセプト数・利用者介護度

要支援 1	81件
要支援 2	176件
要介護 1	206件
要介護 2	295件
要介護 3	253件
要介護 4	156件
要介護 5	115件
申請中	23件

地域医療支援関連業務

- ・第20回東新潟循環器研究会 (2016/6/3)
- ・第11回東新潟NHCA P懇話会 (2016/10/13)
- ・第3回ぽーちゅらかネット (木戸大形石山圏地域医療連携ネットワーク) (2016/12/22)
- ・第3回新潟エッセン症例検討会 (2017/2/17)

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

8. 健診センター

1. 活動報告

体制

常勤医師 3 名 保健師 2 名 看護師 2 名（臨時） 放射線技師 1 名 事務職員 11 名（臨時 1 名）

健診実績：13,884 人

1) 日帰りドック（平日午前、第 2・第 4 土曜日午前）

3,347 人

2) 特定健診（平日午前、第 2・第 4 土曜日午前、木曜日 14：00～15：00

2,538 人

3) 特定保健指導

79 人（積極的支援：35 人、動機づけ支援：44 人）

4) その他健診

7,920 人

日本総合健診医学会 優良総合健診施設認定【更新】

更新期間：2017 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

9. 研究部

1. 活動報告

研究部は、診療録・図書の管理を行っており診療情報管理担当3人、図書担当1人の4人体制となっている。診療録の監査、病名および処置のコーディング業務、病名検索、全国がん登録、各種Q Iの作成、NCD登録補助業務、DPC様式1の精度管理、紙カルテの貸出、蔵書管理、文献検索補助、木戸病院医誌の編集・発行等を行っている。

2016年よりDPC対象病院となり、各部署へDPC勉強会の開催やDPCデータ・公開データの分析、分析ソフトを用いた提案や、保険診療係数向上のため病院情報公開用の病院指標の作成・分析等を行った。

全国がん登録が開始され、従来の運用方法を見直し院内の全ての対象を登録できるよう体制を整備した。院外の研修会にも積極的に参加し知識や精度を高めるよう努めている。

診療録の量的・質的点検についてもマニュアルを見直し、診療録管理体制加算1取得を目指し活動を行っている。

2. 研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

資格取得

◇眞田 瑞樹

・クオリティーマネージャー

◇蔵書数

単行書 2,555冊

和雑誌 84タイトル

洋雑誌 19タイトル

◇文献検索システム

医中誌Web. Ver.5

最新看護索引Web

◇定期購読雑誌一覧

洋雑誌

American Journal of Cardiology
American Journal of Obstetrics & Gynecology
Annals of Neurology
Bone & Joint Journal
Circulation
Clinical Journal of American society of Nephrology
Diabetes
Diabetes Care
Gastroenterology
Journal of American Academy of Dermatology
Journal of American College of Cardiology
Journal of Bone & Joint Surgery (American)
Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism
Journal of Orthopaedic Science
Lancet
Laryngoscope
New England Journal of Medicine
PEDIATRICS
Surgery Today

和雑誌

インフェクションコントロール
インナービジョン
ジャーナルオブクリニカルリハビリテーション
おはよう21
オペナーシング
きょうの健康
クインテッセンスデンタルイントロプラジー
クリニカル・エンジニアリング
ケアマネジャー
コミュニティケア
デルマ
デンタルハイジーン
ハートナーシング
プリプリ
ブレインナーシング
ヘルスケア・レストラン
ホルモンと臨床
メディカルテクノロジー

レクリエ
胃と腸
医事業務
医療判例解説
栄養と料理
画像診断
看護記録と看護過程
看護研究
肝胆脾
関節外科
眼科ケア
継続看護を担う外来看護
月刊 新医療
月刊 薬事
月刊DAY
検査と技術
呼吸
呼吸と循環
呼吸器ケア
呼吸器ジャーナル
呼吸器内科
作業療法ジャーナル
産婦人科の実際
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
手術
循環器ジャーナル
助産雑誌
小児科診療
小児科臨床
小児内科
消化器外科
消化器内視鏡
心臓
神経内科
腎と透析
整形・災害外科
整形外科
整形外科看護
生活協同組合研究

脊椎・脊髄ジャーナル

胆と膵

地域連携入退院と在宅支援

透析ケア

日経ヘルスケア

日本医事新報

日本胸部臨床

日本歯科評論

日本病院会雑誌

乳癌の臨床

皮膚科の臨床

病理と臨床

保険診療

補綴臨床

訪問介護サービス

薬局

理学療法

理学療法ジャーナル

臨床と微生物

臨床栄養

臨床画像

臨床外科

臨床看護記録

臨床消化器内科

臨床婦人科産科

V. その他活動状況等

【1. 院内講演会】

1. 演 題：パーキンソン病の診断と治療
講 師：神経内科部長 高橋俊昭
開催日：2017／4／28
2. 演 題：大腸癌の外科に携わって
講 師：外科部長 花井 彰
開催日：2016／9／8
3. 演 題：排尿自立を目指して
講 師：泌尿器科部長 北村康男
開催日：2016／9／13
4. 演 題：重度嚥下障害患者の在宅支援を考える
講 師：歯科医長 藤田孝子
副院長 山田 明
主任言語聴覚士 本田俊一
開催日：2017／2／17
5. 演 題：緩和ケアとがん終末期医療
講 師：白根大通病院 ホスピス科 長谷川 聡
開催日：2017／2／23
6. 演 題：当院における転棟・転落対策
リエゾンロコモ予防による転棟・転落防止
講 師：武蔵野赤十字病院 医療安全管理者 黒川美知代
名古屋第二赤十字病院 副院長 佐藤公治
開催日：2017／3／10

【2. 院内研修会】

1. 演 題：院内針刺し事故の現状と血液体液暴露後の対応－医療安全・感染対策研修会
講 師：感染管理認定看護師 武田 惇
開催日：2017／7／5

2. 演 題：2015年度インシデントのまとめ「Good job」のころをえる－医療安全・感染対策研修会
講 師：医療安全管理室長 三膳景子
開催日：2017／7／5
3. 演 題：院内針刺し事故の現状と血液体液暴露後の対応－医療安全・感染対策研修会
講 師：感染管理認定看護師 武田 惇
開催日：2017／7／6
4. 演 題：2015年度インシデントのまとめ「Good job」のころをえる－医療安全・感染対策研修会
講 師：医療安全管理室長 三膳景子
開催日：2017／7／6
5. 演 題：院内針刺し事故の現状と血液体液暴露後の対応－医療安全・感染対策研修会
講 師：感染管理認定看護師 武田 惇
開催日：2017／7／7
6. 演 題：2015年度インシデントのまとめ「Good job」のころをえる－医療安全・感染対策研修会
講 師：医療安全管理室長 三膳景子
開催日：2017／7／7
8. 演 題：院内針刺し事故の現状と血液体液暴露後の対応－医療安全・感染対策研修会
講 師：感染管理認定看護師 武田 惇
開催日：2017／7／8
9. 演 題：2015年度インシデントのまとめ「Good job」のころをえる－医療安全・感染対策研修会
講 師：医療安全管理室長 三膳景子
開催日：2017／7／8
10. 演 題：流行期間中のアウトブレイクを防ぐためのポイント
講 師：検査科技師長 若山正隆
薬剤師 木島浩子
感染管理認定看護師 武田 惇
開催日：2016／11／28
11. 演 題：言葉で防げる医療安全
講 師：診療事務課長 小林静子
開催日：2016／11／28

12. 演 題：流行期間中のアウトブレイクを防ぐためのポイント

講 師：検査科技師長 若山正隆

薬剤師 木島浩子

感染管理認定看護師 武田 惇

開催日：2016／11／29

13. 演 題：言葉で防げる医療安全

講 師：診療事務課長 小林静子

開催日：2016／11／29

14. 演 題：流行期間中のアウトブレイクを防ぐためのポイント

講 師：検査科技師長 若山正隆

薬剤師 木島浩子

感染管理認定看護師 武田 惇

開催日：2016／11／30

15. 演 題：言葉で防げる医療安全

講 師：診療事務課長 小林静子

開催日：2016／11／30

16. 演 題：流行期間中のアウトブレイクを防ぐためのポイント

講 師：検査科技師長 若山正隆

薬剤師 木島浩子

感染管理認定看護師 武田 惇

開催日：2016／12／ 2

17. 演 題：言葉で防げる医療安全

講 師：診療事務課長 小林静子

開催日：2016／12／ 2

【3. C P C】

1. 演 題：第8回C P C

講 師：新潟大学医歯学総合病院病理学分野 福田 睦

副院長 山田 明

開催日：2017／ 1 ／26

【4. 看護部院内研修会】

【入職時・新人看護師研修会】

1. 演 題：看護記録・電子カルテ
対象者：新人看護師
開催日：2016／4／2
2. 演 題：有効な口腔ケアを学ぶ
対象者：新人看護師
新人看護助手
開催日：2016／4／6
3. 演 題：スキンケア・ポジショニング
対象者：新人看護師
新人看護助手
開催日：2016／4／6
4. 演 題：院内医療安全について
対象者：新人看護師
新人看護助手
開催日：2016／4／7
5. 演 題：医療ガス安全講習会
対象者：新人看護師
新人看護助手
開催日：2016／4／7
6. 演 題：院内感染対策を学ぶ
対象者：新人看護師
新人看護助手
開催日：2016／4／7
7. 演 題：プリセプターとの顔合わせ
対象者：新人看護師
開催日：2016／4／7
8. 演 題：看護師オリエンテーション
対象者：新人看護師
開催日：2016／4／8

9. 演 題：ポートフォリオを取り入れた目標管理

対象者：新人看護師

開催日：2016／4／8

10. 演 題：院内ツアー

対象者：新人看護師

開催日：2016／4／8

11. 演 題：採血

対象者：新人看護師

開催日：2016／4／11

12. 演 題：静脈注射・点滴

対象者：新人看護師

開催日：2016／4／12

13. 演 題：トランスファー研修会

対象者：新人看護師

開催日：2016／4／20

14. 演 題：輸液ポンプ・シリンジポンプ

対象者：新人看護師

開催日：2016／5／13

15. 演 題：3ヶ月評価

対象者：新人看護師

開催日：2016／6／23

16. 演 題：心電図研修会

対象者：新人看護師

開催日：2016／6／23

17. 演 題：インスリン注射研修

対象者：新人看護師

インターン

開催日：2016／8／19

18. 演 題：輸血療法
対象者：新人看護師
開催日：2016／9／16
19. 演 題：6ヶ月評価・医療安全
対象者：新人看護師
開催日：2016／10／20
20. 演 題：バイパップ研修会
対象者：新人看護師
開催日：2016／11／24
21. 演 題：コミュニケーション・クリスマス会
対象者：新人看護師
開催日：2016／12／14
22. 演 題：人工呼吸器研修会
対象者：新人看護師
開催日：2017／1／25
23. 演 題：新人看護師12ヶ月宿泊研修
対象者：新人看護師
開催日：2017／3／1
24. 演 題：食事介助・口腔ケア
対象者：新人看護師
開催日：2017／3／17

【プリセプター研修会】

1. 演 題：第2回プリセプター研修会
対象者：プリセプター
開催日：2016／7／12
2. 演 題：第3回プリセプター研修会
対象者：プリセプター
開催日：2016／11／15

3. 演 題：第4回プリセプター研修会

対象者：プリセプター

開催日：2017／3／7

4. 演 題：第1回プリセプター研修会

対象者：プリセプター

開催日：2017／3／14

【看護助手研修会】

1. 演 題：環境整備・ベッドメイキング

対象者：看護助手

開催日：2016／5／11

2. 演 題：組織の理念と方針

対象者：看護助手

開催日：2016／6／8

3. 演 題：守秘義務、個人情報の保護

対象者：看護助手

開催日：2016／7／13

4. 演 題：医療安全・感染対策

対象者：看護助手

開催日：2016／8／10

5. 演 題：接遇研修

対象者：看護助手

開催日：2016／9／14

6. 演 題：労働安全上の基礎知識・腰痛予防

対象者：看護助手

開催日：2016／10／12

【看護部内研修会】

1. 演 題：回復期リハビリにおける看護師の役割

対象者：4階病棟

開催日：2016／4／8

2. 演 題：ポジショニング～快適な姿勢をサポートする～
対象者：8階病棟
開催日：2016／5／25
3. 演 題：ポジショニング～快適な姿勢をサポートする～
対象者：8階病棟
開催日：2016／5／27
4. 演 題：回復期リハビリテーション病棟の運用とコストについて
対象者：4階病棟
開催日：2016／5／17
5. 演 題：V I Oシステム説明会
対象者：手術室
開催日：2016／6／7
6. 演 題：新生児蘇生法について
対象者：6階病棟
開催日：2016／6／29
7. 演 題：地域包括ケアを意識した患者支援とは
対象者：8階病棟
開催日：2016／7／26
8. 演 題：P I C Cカテーテル取扱い方法
対象者：9階病棟
開催日：2016／7／26
9. 演 題：ユニコーンネイル（髄内釘）・トラクションテーブルの説明
対象者：手術室・6階病棟
開催日：2016／7／28
10. 演 題：第30回看護研究発表会
対象者：看護職員
開催日：2016／7／9
11. 演 題：縫合糸について
対象者：手術室
開催日：2016／8／8

12. 演 題：エアフローベストの取扱いについて
対象者：4階病棟
開催日：2016／8／10
13. 演 題：新生児蘇生法について
対象者：6階病棟
開催日：2016／8／10
14. 演 題：心臓カテーテル学習会
対象者：7階病棟
開催日：2016／8／31
15. 演 題：師長・主任研修会
対象者：看護師長・主任看護師
開催日：2016／8／27
16. 演 題：重症度、医療・看護必要度研修会
対象者：看護職員
開催日：2016／9／2
17. 演 題：重症度、医療・看護必要度研修会
対象者：看護職員
開催日：2016／9／3
18. 演 題：重症度、医療・看護必要度研修会
対象者：看護職員
開催日：2016／9／6
19. 演 題：重症度、医療・看護必要度研修会
対象者：看護職員
開催日：2016／9／15
20. 演 題：リーダー研修会
対象者：4～5年目看護職員
開催日：2016／9／28
21. 演 題：ペースメーカーと電気メスEMR
対象者：手術室
開催日：2016／9／26

22. 演 題：採血実習
対象者：臨床検査技師
開催日：2016／9／21
23. 演 題：採血実習
対象者：臨床検査技師
開催日：2016／9／27
24. 演 題：採血実習
対象者：臨床検査技師
開催日：2016／9／29
25. 演 題：慢性心不全患者の特徴と療養上の課題
対象者：心不全チーム・7階病棟
開催日：2016／9／23
26. 演 題：キャリア研修会（ネラティブを語る）
対象者：16年目以上看護職員
開催日：2016／11／11
27. 演 題：ショーンカテテルについて
対象者：透析室
開催日：2016／6／22
28. 演 題：透析患者の骨・ミネラル代謝とホルモンバランス
対象者：透析室
開催日：2016／6／22
29. 演 題：透析患者の倫理・認知症のある透析患者
対象者：透析室
開催日：2016／8／31
30. 演 題：心電図（不整脈）
対象者：透析室
開催日：2016／8／31
31. 演 題：透析患者さんと服薬コミュニケーション
対象者：透析室
開催日：2016／11／25

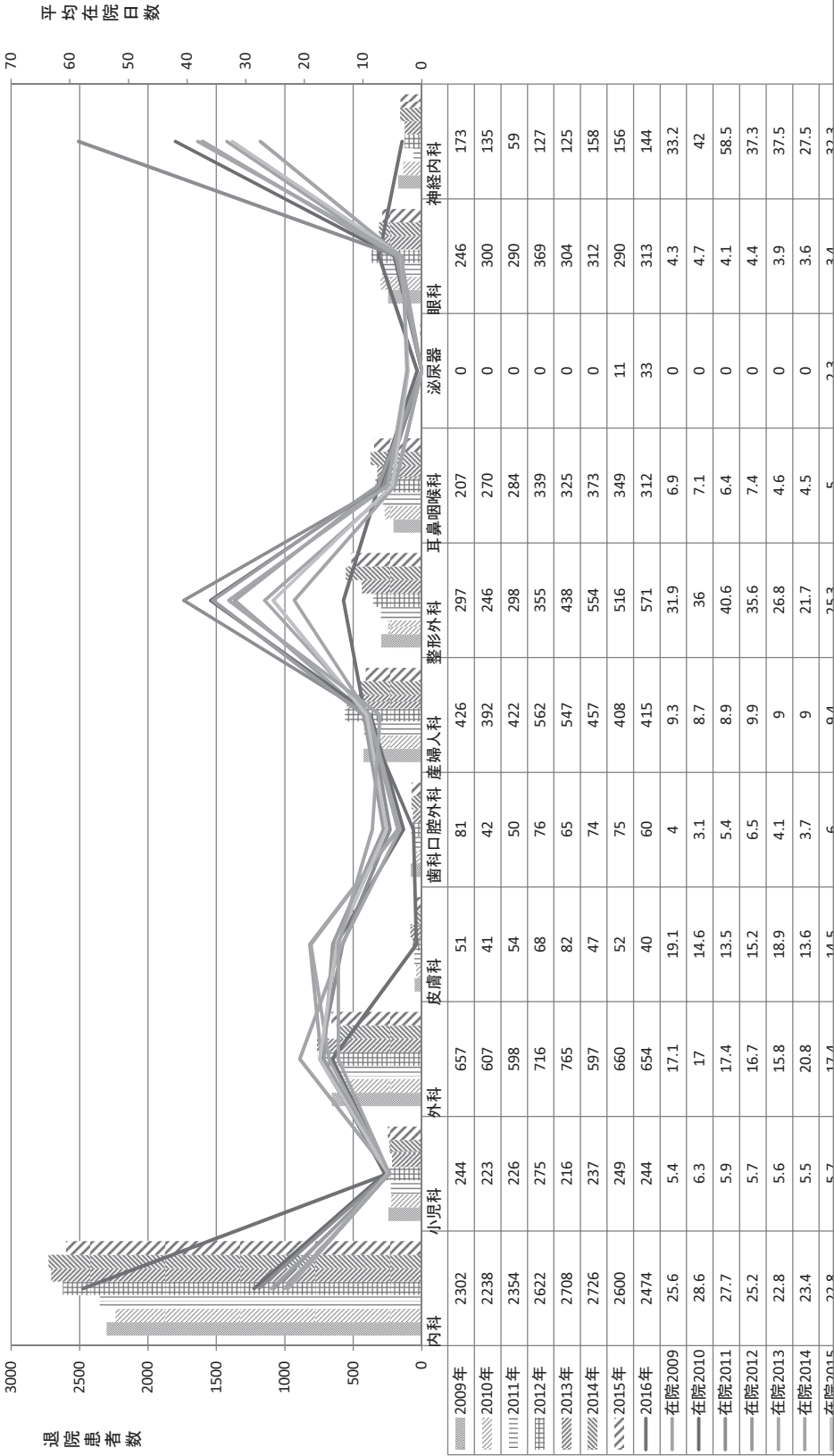
32. 演 題：認知症高齢者の理解
対象者：8階病棟
開催日：2016／12／27
33. 演 題：ペースメーカー心電図の基本
対象者：透析室
開催日：2017／1／18
34. 演 題：中堅研修会（ナラティブを語る）
対象者：中堅看護師
開催日：2017／2／2
35. 演 題：ポジショニング・臨床実技練習
対象者：4階病棟
開催日：2017／2／6
36. 演 題：急変時の対応 DCの取り扱い
対象者：9階病棟
開催日：2017／2／20
37. 演 題：CKD-MBOの病態と治療
対象者：透析室
開催日：2017／2／17
38. 演 題：マルチチャネルドレナージについて
対象者：9階病棟
開催日：2017／3／2
39. 演 題：持続吸引ドレーンJ-VACの管理
対象者：9階病棟
開催日：2017／3／14
40. 演 題：医療行為におけるH I V暴露後の感染予防
対象者：透析室
開催日：2017／3／15
41. 演 題：認知症高齢者ケア学習会
対象者：看護職員
開催日：2017／3／21

42. 演 習：認知症高齢者ケア学習会
対象者：看護職員
開催日：2017／3／28

退院患者疾病統計表
(2016年)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	在院2009	在院2010	在院2011	在院2012	在院2013	在院2014	在院2015	在院2016
内科	2302	2238	2354	2622	2708	2726	2600	2474	25.6	28.6	27.7	25.2	22.8	23.4	22.8	22.9
小児科	244	223	226	275	216	237	249	244	5.4	6.3	5.9	5.7	5.6	5.5	5.7	5.5
外科	657	607	598	716	765	597	660	654	17.1	17	17.4	16.7	15.8	20.8	17.4	14.2
皮膚科	51	41	54	68	82	47	52	40	19.1	14.6	13.5	15.2	18.9	13.6	14.5	14.2
齒科口腔外科	81	42	50	76	65	74	75	60	4	3.1	5.4	6.5	4.1	3.7	6	8.4
産婦人科	426	392	422	562	547	457	408	415	9.3	8.7	8.9	9.9	9	9	9.4	7.1
整形外科	297	246	298	355	438	554	516	571	31.9	36	40.6	35.6	26.8	21.7	25.3	32.9
耳鼻咽喉科	207	270	284	339	325	373	349	312	6.9	7.1	6.4	7.4	4.6	4.5	5	5.8
泌尿器	0	0	0	0	0	0	11	33	0	0	0	0	0	0	2.3	2.5
眼科	246	300	290	369	304	312	290	313	4.3	4.7	4.1	4.4	3.9	3.6	3.4	3.3
神経内科	173	135	59	127	125	158	156	144	33.2	42	58.5	37.3	37.5	27.5	32.3	38.2

科別・年別退院患者数・平均在院日数



1.<死亡>大分類・年齢別・科別患者数

大分類	年齢別	内科	小児	外科	皮膚	歯口	産婦	整外	耳鼻	眼科	神内	泌尿	総計
Ⅰ. 感染症および寄生虫症	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
Ⅱ. 新生物	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	6
	60～69歳	15	0	8	0	1	0	0	1	0	0	0	25
	70～79歳	15	0	18	0	0	0	0	1	0	0	0	34
	80歳以上	43	0	17	0	3	0	0	1	0	0	0	64
	計	77	0	44	0	4	0	0	4	0	0	0	129
Ⅲ. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	80歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
IV. 内分泌、栄養および代謝疾患																					
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	80歳以上	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
V. 精神および行動の障害																					
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
VI. 神経系の疾患																					
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

[illegible]

[illegible]

2.<死亡>科別・月別・性別退院患者数

入院科	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
内科	男性	11	12	9	10	9	8	8	11	10	8	10	8	114
	女性	9	7	7	10	4	8	4	4	7	12	9	8	89
小児	男性													
	女性													
外科	男性	3	4	4	3	1	2	2	2	2	3	1	2	27
	女性	6	2	1	1	1	2	3	3	2	1	1	2	23
皮膚	男性													
	女性													
歯口	男性		1						1					2
	女性				1							1		2
産婦	男性													
	女性													
整外	男性						1							1
	女性										1	1		2
耳鼻	男性				1							1		3
	女性											1		1
眼科	男性													
	女性													
神内	男性					2			1	2	1	1		7
	女性	1	2	1					2		1		1	8
泌尿	男性													
	女性													
総計		30	28	22	26	17	21	21	24	23	27	21	23	279

3.大分類別による年齢・性別・退院患者数

	0歳		1～5歳		6～12歳		13～15歳		16～19歳		20～24歳		25～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上		総計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
I. 感染症および寄生虫症	5	6	0	0	0	0	1	2	11	10	6	3	4	6	5	1	6	12	6	11	9	5	11	10	12	29	171	
II. 新生物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	2	5	12	23	49	15	179	60	208	91	104	866	
III. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3	0	1	4	3	0	2	4	3	1	24	
IV. 内分泌、栄養および代謝疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	2	3	11	4	11	4	11	14	29	11	28	18	20	43	214	
V. 精神および行動の障害	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	2	2	2	3	4	3	8	9	13	53	
VI. 神経系の疾患	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	1	7	0	18	7	37	12	26	9	28	12	15	22	13	22	236	
VII. 眼および付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	5	28	33	56	72	40	76	320	
VIII. 耳および乳様特機の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	4	2	1	9	5	7	4	1	5	44
IX. 循環器系の疾患	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	17	3	21	7	48	17	63	36	95	112	429
X. 呼吸器系の疾患	31	19	0	0	0	0	3	1	27	17	2	4	17	16	19	14	17	17	29	9	31	23	76	30	134	143	679	
XI. 消化器系の疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	1	5	1	21	11	28	12	38	24	51	47	107	45	101	137	636	
XII. 皮膚および皮下組織の疾患	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	4	1	2	3	1	1	4	7	11	18	58	
XIII. 筋骨格系および結合組織の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	2	1	6	2	9	5	4	8	9	17	19	32	25	54	199	
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	5	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	5	0	0	8	16	7	19	7	11	18	12	29	34	50	97	323	
XV. 妊娠、分娩および産じょく褥>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	22	0	70	0	133	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	237	
XVI. 周産期に発生した病態	76	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141	
XVII. 先天奇形、変形および染色体異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
XVIII. 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	4	0	0	0	0	0	0	7	5	0	0	1	1	1	1	6	2	2	2	6	3	22	18	30	56	171	
XIX. 損傷、中毒および死亡の外因	2	3	0	0	0	0	2	0	4	0	3	0	5	3	4	5	11	6	10	12	35	27	34	60	60	161	447	
総計	130	102	0	0	0	0	9	4	57	43	20	41	43	107	103	204	172	134	219	137	487	277	684	491	708	1079	5251	

4.月別・科別・性別患者数

月別	性別	内科	小児	外科	皮膚	歯口	産婦	整外	耳鼻	眼科	神内	泌尿	総計
1月	男性	117	12	31	3	1	3	10	16	10	3	5	211
	女性	95	8	18	2	1	34	30	13	15	6	1	223
2月	男性	97	15	31	1	4	2	12	19	14	9	4	208
	女性	89	10	20	1		28	29	8	13	5		203
3月	男性	148	12	31	2	2	7	8	16	11	5	4	246
	女性	93	9	21	3		31	30	5	17	6		215
4月	男性	113	14	36	2	2	6	11	17	9	3	1	214
	女性	117	8	17	2	3	33	25	5	21	5		236
5月	男性	105	15	33	2	2	7	14	16	9	8	3	214
	女性	95	8	20	2	3	35	20	6	17	3		209
6月	男性	101	11	27	2	5	6	14	24	12	5	5	212
	女性	99	7	19	2	1	30	19	7	19	6		209
7月	男性	114	14	36	3	6	10	17	15	14	11	1	241
	女性	88	6	20	2		31	31	10	7	10		205
8月	男性	98	12	35		6	8	18	24	18	8	2	229
	女性	111	6	17	3	2	29	27	11	14	2	1	223
9月	男性	109	9	30	1	4	4	16	11	6	7	6	203
	女性	97	10	19	3		20	30	16	12	5		212
10月	男性	111	17	28	2	2	3	14	16	9	4	2	208
	女性	91	15	26	2	3	22	32	7	22	8		228
11月	男性	106	18	39		3	11	20	13	8	6		224
	女性	94	6	25	2		41	29	5	14	5		221
12月	男性	109	14	37	1	2	3	18	17	13	5	3	222
	女性	94	14	26	2	1	16	46	12	14	9	1	235
総計		2491	270	642	45	53	420	520	309	318	144	39	5251

5.在院期間別・科別退院患者数

在院期間別	性別	内科	小児	外科	皮膚	歯口	産婦	整外	耳鼻	眼科	神内	泌尿	総計
0～7日	男性	398	141	231	1	36	70	48	166	133	12	36	1272
	女性	292	94	108	6	11	207	51	80	185	12	2	1048
8～14日	男性	336	22	54	11	1	0	20	32	0	9	0	485
	女性	247	12	59	12	0	104	46	22	0	8	1	511
15～30日	男性	311	0	69	5	0	0	44	3	0	11	0	443
	女性	286	1	41	4	1	22	96	1	0	23	0	475
31～90日	男性	244	0	31	2	1	0	52	3	0	33	0	366
	女性	292	0	36	4	0	16	146	2	0	22	0	518
91～180日	男性	32	0	7	0	0	0	8	0	0	9	0	56
	女性	42	0	4	0	2	1	9	0	0	5	0	63
181日以上	男性	7	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	10
	女性	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
総計		2491	270	642	45	53	420	520	309	318	144	39	5251

6.大分類別による地域・性別・退院患者数

大分類別	県外		江南区		市外		秋葉区		西蒲区		西区		中央区		東区牡丹山		東区河渡		東区山ノ下		東区石山		東区大形		東区木戸		南区		北区		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
I. 感染症および寄生虫症	2	5	6	1	2	1	1	1	1	1	3	2	8	10	10	7	10	16	5	5	11	17	2	2	10	15			10	10	171
II. 新生物	1	42	12	9	3	1	1	3			5	2	57	17	77	51	39	28	13	10	98	65	36	18	97	65	1	76	39	866	
III. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害											1	2	2	3			1		1		2	1	1	1	2	1		3	3	24	
IV. 内分泌、栄養および代謝疾患	4	7	3	1	5	1	1				3	16	7	10	20	11	16	6	4	20	10	8	3	16	13	2		16	12	214	
V. 精神および行動の障害	2	1	1	2									5	4	2	3	6	2	3	3	2	2	3	2	5	2	1	2	2	53	
VI. 神経系の疾患	1	9	4	43	23	2	2	2	2	2	15	2	20	6	14	3	11	8	2	2	10	9	4	7	7	9	1	13	7	236	
VII. 眼および付属器の疾患		4	10	2	2	2	1		1				10	7	27	15	17	38	2	5	22	40	14	12	25	28		8	28	320	
VIII. 耳および乳・視覚機能の疾患	1	2		1	1	1	1				2			1	4	2	1	3		1	3	3	2	3	2	3	2		6	5	44
IX. 循環器系の疾患	2	14	11	2	3	6	1	1			5	1	31	22	36	22	25	19	5	3	32	36	20	9	45	40		26	12	429	
X. 呼吸器系の疾患		2	28	7	5	6	9	2			4	3	35	23	54	36	62	41	11	13	45	38	20	19	60	64	1	52	39	679	
XI. 消化器系の疾患	2	19	12	8	6	2	4		2	2	4	35	27	69	43	25	22	13	10	62	50	27	20	49	63	2	39	19	636		
XII. 皮膚および皮下組織の疾患		3	2									1	1	5	4	7	2	2		4	4	8	4	6	1			1	3	58	
XIII. 筋骨格系および結合組織の疾患		4	8	1	10	3					3	1	13	8	14	14	4	11	4	5	6	26	6	7	11	19	1	7	12	199	
XIV. 泌尿生殖器系の疾患		7	7	1	2		4	1	3	1	2	8	23	15	28	18	23	3	5	26	26	7	10	26	43			12	22	323	
XV. 妊娠、分娩および産じょく補>		37	7	7	7	2	2	2		5		16		24		25		7		19		8			41				37	237	
XVI. 周産期に発生した病態	12	14	3	2	1	1	2				1	1	4	3	12	10	8	7	4	2	8	3	2	3	9	12		10	7	141	
XVII. 先天奇形、変形および染色体異常			2																			1								3	
XVIII. 症状、徴候および異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	1	4	5	2	1						2	1	10	10	16	12	9	13	1	3	15	19	3	3	9	14		1	7	10	171
XIX. 損傷、中毒および死亡の外因	1	1	4	8	2	5		5	1	3	2	5	12	26	28	46	19	22	3	8	34	51	10	20	44	46	1	10	30	447	
総計	27	56	156	104	82	77	27	27	7	13	44	37	267	218	392	343	262	300	75	90	401	423	167	147	421	481	6	6	298	297	5251

疾病統計表 疾病別・科別・性別患者数

	性別	内科	小児	外科	皮膚	歯口	産婦	整外	耳鼻	眼科	神内	泌尿	(空白)	総計
腸管感染症 (A00-A09)	男性	28	6	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	43
	女性	31	13	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
結核 (A15-A19)	男性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の細菌性疾患 (A30-A49)	男性	9	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	女性	9	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13
主として性的伝播様式をとる感染症 (A50-A64)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
中枢神経系のウイルス感染症 (A80-A89)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症 (B00-B09)	男性	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	女性	0	3	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	11
ウイルス肝炎 (B15-B19)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他のウイルス疾患 (B25-B34)	男性	0	5	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	7
	女性	1	5	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	10
口唇、口腔および咽頭の悪性新生物 (C00-C14)	男性	0	0	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	7
	女性	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
消化器の悪性新生物 (C15-C26)	男性	167	0	207	0	0	0	0	0	0	1	0	0	375
	女性	95	0	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30-C39)	男性	20	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	女性	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40-C41)	男性	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物 (C43-C44)	男性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中皮および軟部組織の悪性新生物 (C45-C49)	男性	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
乳房の悪性新生物 (C50-C50)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	1	0	31	0	0	0	1	0	0	0	0	0	33
女性性器の悪性新生物 (C51-C58)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6
男性性器の悪性新生物 (C60-C63)	男性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	21
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尿路の悪性新生物 (C64-C68)	男性	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女性	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物 (C73-C75)	男性	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物 (C76-C80)	男性	0	0	17	0	0	0	2	0	0	0	0	0	19
	女性	3	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	7
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物 (C81-C96)	男性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女性	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
上皮内新生物 (D00-D09)	男性	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	女性	2	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	14
良性新生物 (D10-D36)	男性	82	0	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	92
	女性	35	0	11	3	0	11	0	0	0	1	0	0	61

[illegible]

[illegible]

自然開口部からの異物侵入の作用 (T15-T19)	男性	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女性	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
多部位および部位不明の熱傷および腐食 (T29-T32)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 (T36-T50)	男性	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	女性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
薬用を主としない物質の毒作用 (T51-T65)	男性	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女性	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
外因のその他および詳細不明の作用 (T66-T78)	男性	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	女性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの (T80-T88)	男性	32	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	35
	女性	15	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	17
損傷、中毒およびその他の外因の影響の続発・後遺症 (T90-T98)	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
総計		2491	270	642	45	53	420	520	309	318	144	39	0	0	0	5251	

疾病統計表 疾病別・年齢別・科別患者数

	年齢別	内科	小児	外科	皮膚	歯口	産婦	整外	耳鼻	眼科	神内	泌尿	総計
腸管感染症 (A00-A09)	0歳	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	16～19歳	2	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	10
	20～24歳	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	25～29歳	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	30～39歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	40～49歳	4	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	50～59歳	8	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	60～69歳	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	70～79歳	12	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	14
	80歳以上	21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	22
結核 (A15-A19)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の細菌性疾患 (A30-A49)	0歳	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	30～39歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	60～69歳	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	70～79歳	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	80歳以上	11	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13
主として性的伝播様式をとる感染症 (A50-A64)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

[illegible]

皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物 (C43-C44)	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上			0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中皮および軟部組織の悪性新生物 (C45-C49)	0歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0歳			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房の悪性新生物 (C50-C50)	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	80歳以上			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11

[illegible]

性状不詳または不明の新生物 (D37-D48)	50～59歳	17	0	0	1	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	23
	60～69歳	38	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	46
	70～79歳	31	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39
	80歳以上	17	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
II 新生物		443	0	0	355	4	4	4	26	4	8	0	0	2	20	866	
栄養性貧血 (D50-D53)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	50～59歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	70～79歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無形成性貧血およびその他の貧血 (D60-D64)	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	50～59歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	70～79歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	70～79歳	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態 (D65-D69)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (F50-F59)	50～59歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	60～69歳	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	70～79歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		36	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	53
	V 精神および行動の障害 中枢神経系の炎症性疾患 (G00-G09)																			
錐体外路障害および異常運動 (G20-G26)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経系のその他の変性疾患 (G30-G32)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

食道、胃および十二指腸の疾患 (K20-K31)	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	50～59歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	60～69歳	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	70～79歳	13	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	80歳以上	15	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
虫垂の疾患 (K35-K38)	0歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	30～39歳	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	40～49歳	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	50～59歳	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	60～69歳	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	70～79歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	80歳以上	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルニア (K40-K46)	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	30～39歳	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	40～49歳	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	50～59歳	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	60～69歳	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	70～79歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	80歳以上	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	25～29歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	30～39歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	40～49歳	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	50～59歳	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	60～69歳	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	70～79歳	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	80歳以上	2	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
非感染性腸炎および非感染性大腸炎 (K50-K52)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12

[illegible]

[illegible]

Ⅷ 皮膚および皮下組織の疾患 炎症性多発性関節障害 (M05-M14)	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		19	3	5	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	70～79歳	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	80歳以上	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
関節症 (M15-M19)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の関節障害 (M20-M25)	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6

全身性結合組織障害 (M30-M36)	80歳以上		1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
	0歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	30～39歳		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	40～49歳		1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	4
	50～59歳		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	60～69歳		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	70～79歳		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	80歳以上		6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	7
変形性脊柱障害 (M40-M43)	0歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	60～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	80歳以上		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2
脊椎障害 (M45-M49)	0歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	60～69歳		1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5	5
	70～79歳		2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	5
	80歳以上		2	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	2	0	13	13
その他の脊柱障害 (M50-M54)	0歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	25～29歳		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	30～39歳		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	3
	40～49歳		1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	5	5
	50～59歳		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

— 141 —

[illegible]

XⅧ 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭部損傷 (S00-S09)	113	27	8	0	0	0	0	15	1	0	7	0	171
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頸部損傷 (S10-S19)	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部＜郭＞損傷 (S20-S29)	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷 (S30-S39)	70～79歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

肩および上腕の損傷 (S40-S49)	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	60～69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	7
	70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	19
	80歳以上	2	0	0	1	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	64
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
肘および前腕の損傷 (S50-S59)	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手首および手の損傷 (S60-S69)	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
股関節および大腿の損傷 (S70-S79)	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13～15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

栄養性貧血 (D50-D53)	0～7日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	8～14日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	15～30日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	31～90日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	8～14日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無形成性貧血およびその他の貧血 (D60-D64)	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	8～14日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	8～14日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態 (D65-D69)	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液および造血器のその他の疾患 (D70-D77)	0～7日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	8～14日	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	8～14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
免疫機構の障害 (D80-D89)	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	8～14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日	18	2	3	0	0	0	0	0	0	0	24
	8～14日	0	0	0	0	0						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

虫垂の疾患 (K35-K38)	0～7日	1	1	1	17	0	0	0	0	0	19
	8～14日	1	0	0	8	0	0	0	0	0	9
	15～30日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	31～90日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルニア (K40-K46)	0～7日	2	0	0	64	0	0	0	0	0
8～14日		0	0	0	13	0	0	0	0	0	13
15～30日		0	0	0	7	0	0	0	0	0	7
31～90日		1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非感染性腸炎および非感染性大腸炎 (K50-K52)		0～7日	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	8～14日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	15～30日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	31～90日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸のその他の疾患 (K55-K63)	0～7日	38	0	15	0	0	0	0	0	0
8～14日		33	0	14	0	0	0	0	0	0	47
15～30日		20	0	3	0	0	0	0	0	0	23
31～90日		4	0	3	0	0	1	0	0	0	8
91～180日		6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹膜の疾患 (K65-K67)		0～7日	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	8～14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	91～180日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝疾患 (K70-K77)	0～7日	6	0	0	0	0	0	0	0	0
8～14日		9	0	0	0	0	1	0	0	0	10
15～30日		7	0	1	0	0	0	0	0	0	8
31～90日		11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
91～180日		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
181日以上		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胆のうく嚢>、胆管および膵の障害 (K80-K87)		0～7日	9	0	6	0	0	0	0	0	0
	8～14日	27	0	12	0	0	0	0	0	0	39
	15～30日	62	0	15	0	0	0	0	0	0	77
	31～90日	36	0	5	0	0	0	0	0	0	41
	91～180日	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
	181日以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	消化器系のその他の疾患 (K90-K93)	0～7日	8	0	2	0	0	0	0	0	0
8～14日		16	0	6	0	0	0	0	0	0	22
15～30日		5	0	4	0	0	0	0	0	0	9
31～90日		3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
X I 消化器系の疾患 皮膚および皮下組織の感染症 (L00-L08)		0～7日	368	1	213	0	49	0	2	0	636

水疱症 (L10-L14)	8～14日		3	1	1	6	0	0	1	1	0	0	0	0	13
	15～30日		5	0	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	12
	31～90日		4	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	9
	91～180日		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	15～30日		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	31～90日		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚炎および湿疹 (L20-L30)	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	15～30日		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	31～90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	15～30日		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
じんまき蕁麻疹＞疹および紅斑 (L50-L54)	31～90日		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	91～180日		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚および皮下組織の放射線（非電離）及び電離に 関連する障害 (L55-L59)	8～14日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚付属器の障害 (L60-L75)	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	8～14日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚および皮下組織のその他の障害 (L80-L99)	31～90日		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
X II 皮膚および皮下組織の疾患 炎症性多発性関節障害 (M05-M14)	19	3	5	24	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	58
	0～7日		3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
	8～14日		2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	15～30日		4	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	7
	31～90日		2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5
	91～180日		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	8～14日		0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関節症 (M15-M19)	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	91～180日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	181日以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0～7日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～14日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～30日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31～90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[illegible]

[illegible]

[illegible]

— 164 —

[illegible]

疾病統計表 ICD-10別・科別患者数

	内科	小児	外科	皮膚	歯口	産婦	整形外科	耳鼻	眼科	神内	泌尿	総計
A043 腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A045 カンピロバクター腸炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
A046 エルシニア エンテロコリチカによる腸炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A047 クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6
A080 ロタウイルス性腸炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A081 ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
A082 アデノウイルス性腸炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A084 ウイルス性腸管感染症、詳細不明	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	52	11	15	0	0	0	0	1	0	0	0	79
A150 肺結核、培養の有無にかかわらず喀痰鏡検により確認されたもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A151 肺結核、培養のみにより確認されたもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A310 肺非結核性抗酸菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A379 百日咳、詳細不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A401 B群レンサ球菌による敗血症	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A403 肺炎レンサ球菌による敗血症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
A415 その他のグラム陰性菌による敗血症	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
A418 その他の明示された敗血症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A419 敗血症、詳細不明	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
A46 丹毒	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5
A491 レンサ球菌感染症、詳細不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A493 マイコプラズマ感染症、詳細不明	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
A600 性器及び尿路のヘルペスウイルス感染症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
A679 ウイルス(性)髄膜炎、詳細不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
B000 疱疹性湿疹	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
B001 ヘルペスウイルス(性)小水疱性皮膚炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
B022 帯状疱疹、その他の神経系合併症を伴うもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B027 播種性帯状疱疹	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
B029 帯状疱疹、合併症を伴わないもの	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
B082 突発性発疹[第6病]	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
B09 詳細不明の皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B199 詳細不明のウイルス肝炎、昏睡を伴わないもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B258 その他のサイトメガロウイルス病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B269 ムンプス、合併症を伴わないもの	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
B270 ガンマヘルペスウイルス(性)単核症	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
B279 伝染性単核症、詳細不明	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
B340 アデノウイルス感染症、詳細不明	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
I 感染症およびウイルス寄生虫	82	44	22	14	0	1	0	7	0	1	0	171
C021 舌縁	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
C030 上顎歯肉	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
C031 下顎歯肉	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
C102 中咽頭側壁	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

C504 乳房上外側4分の1		0	0	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11
C505 乳房下外側4分の1		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
C508 乳房の境界部病巣		1	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
C509 乳房、部位不明		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C539 子宮頸(部)、部位不明		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C566 卵巣の悪性新生物		2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5
C611 前立腺の悪性新生物		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	21
C64 腎盂を除く腎の悪性新生物		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
C65 腎盂の悪性新生物		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C66 尿管の悪性新生物		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C672 膀胱側壁		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C679 膀胱、部位不明		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
C73 甲状腺の悪性新生物		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C750 上皮小体<副甲状腺>		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
C772 腹腔内リンパ節		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C783 中耳並びにその他及び部位不明の呼吸器の続発性悪性新生物		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C786 後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
C787 肝の続発性悪性新生物		1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
C795 骨及び骨髄の続発性悪性新生物		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
C798 その他の明示された部位の続発性悪性新生物		0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
C80 部位の明示されない悪性新生物		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C833 大細胞型(びまん性)		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
C859 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、型不明		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C900 多発性骨髄腫		6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
D010 結腸		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
D011 直腸S状結腸移行部		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D012 直腸		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
D061 子宮外頸部<exocervix>		0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
D069 子宮頸(部)、部位不明		0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
D120 盲腸		8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
D122 上行結腸		25	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
D123 横行結腸		15	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
D124 下行結腸		7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
D125 S状結腸		37	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44
D126 結腸、部位不明		3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
D127 直腸S状結腸移行部		8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
D128 直腸		12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
D131 胃		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D135 肝外胆管		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D170 頭部、顔面及び頸部の皮膚及び皮下組織		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D171 体幹の皮膚及び皮下組織		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D237 下肢の皮膚、肢関節部を含む		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D239 皮膚、部位不明		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D24 乳房の良性新生物		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
D250 粘膜下子宮平滑筋腫		0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
D251 壁内子宮平滑筋腫		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
D27 卵巣の良性新生物		0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5

[illegible]

[illegible]

[illegible]

O429 前期破水、詳細不明		0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
O470 妊娠満37週未満の偽陣痛		0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
O471 妊娠満37週以後の偽陣痛		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
O479 偽陣痛、詳細不明		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O48 遷延妊娠		0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
O60 早産		0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
O622 その他の陣痛微弱		0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
O630 第1期遷延(分娩)		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O631 第2期遷延(分娩)		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O639 遷延分娩、詳細不明		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O680 胎児心拍数異常を合併する分娩		0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
O682 羊水内胎便を伴う胎児心拍数異常を合併する分娩		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O689 胎児ストレスを合併する分娩、詳細不明		0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
O700 分娩における第1度会陰裂傷<laceration>		0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
O701 分娩における第2度会陰裂傷<laceration>		0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
O702 分娩における第3度会陰裂傷<laceration>		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O709 分娩における会陰裂傷<laceration>、詳細不明		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O713 子宮頸(部)の産科的裂傷<laceration>		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O721 その他の分娩直後出血		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O722 遷延及び二次性分娩後出血		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O800 自然頭位分娩		0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
O908 産じょく<褥>のその他の合併症、他に分類されないもの		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O983 妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併する主として性的伝播様式をとるその他の感染症		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O988 妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体の感染症及び寄生虫症		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
O992 妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併する内分泌疾患、栄養疾患及び代謝疾患		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O996 妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併する消化器系の疾患		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
O998 妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の明示された疾患及び病態		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
XV 妊娠、分娩および産じょく<褥>		1	0	0	0	0	0	0	236	0	0	0	0	0	0	0	0	0	237
P071B その他の低出産体重(児)のうち、出産体重1500グラム-2499グラムの児		0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
P073 その他の早産児		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
P210 重度出生時仮死		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
P219 出生時仮死、詳細不明		0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
P221 新生児一過性頻呼吸		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
P291 新生児心調律障害		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
P599 新生児黄疸、詳細不明		0	1	0	0	0	0	0	119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120
P808 その他の新生児低体温		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
P819 新生児の体温調節機能障害、詳細不明		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
XVI 周産期に発生した病態		0	7	0	0	0	0	0	134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141
Q181 先天性耳ろうく瘻>孔と先天性のうく囊>胞		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
Q613 多発性のうく囊>胞腎、病型不明		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
XVII 先天奇形、変形および染色体異常		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3

[illegible]

表紙題字

佐野誠一

「住民の意向を反映させた住民主体の医療と福祉の地域づくり」を念頭に、1975年1,357名の組合員と新潟医療生活創立総会を開催。

翌1976年5月6日88床で木戸病院を開院。初代理事長に就任。

2003年「消費生活協同組合等に対する厚生労働大臣表彰」を受ける。

2005年長年の社会活動が認められ高齢者叙勲で「旭日双光症」を受賞。

2011年6月理事長退任。

編集委員

河井一浩	市橋美智代	石塚道子	田中弘代	佐藤晃
菊地順子	小熊実花	浅野彩夏	眞田瑞樹	

木戸病院医誌 2017 VOL. 16

平成29年 9 月

新潟医療生活協同組合

木 戸 病 院 TEL 025-273-2151

石 山 診 療 所 TEL 025-276-5111

健 診 セ ン タ ー TEL 025-270-1831

木戸クリニック TEL 025-274-7960

〒950-0862 新潟県新潟市東区竹尾 4 丁目13番 3 号